

ソラーナ[®] E^{エコ}CO

GDR 11・13・14・15・18・21・24・27 SZG(2)
GDR 9 VZG(3)

取扱説明書



Model : GDR21SZG

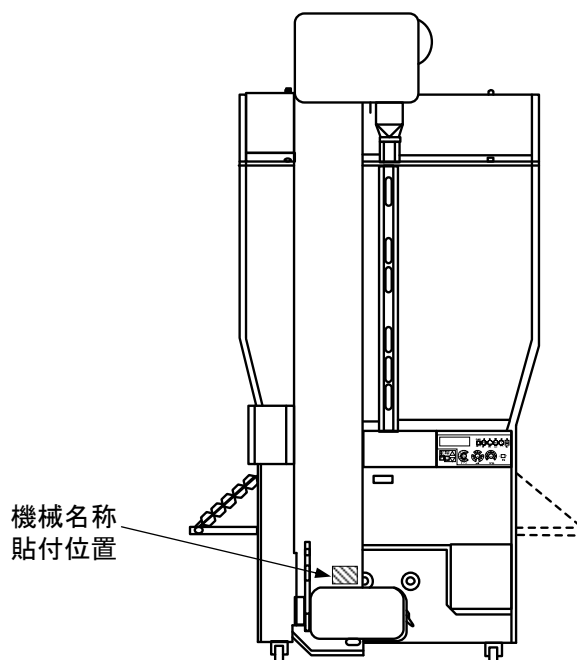
株式会社 **サマケ**

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
- この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
いつでも調べられるように、この取扱説明書を機械の近くに大切に保管してください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したとしても、株式会社サタケおよび販売店・JAは一切その責任を負いません。

1. この機械は、米・麦乾燥用です。他の用途には使用しないでください。
2. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
3. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・JA または、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
4. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはJAまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も合わせてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常なご使用状態において故障した場合には、お買い上げ日より1年間無料で修理いたします。

<保証事項>

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはJAに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・JAまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

<免責事項>

1. 上記(1)から(7)の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはJA、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはJAにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（点検マニュアル・取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

ページ

重要なお知らせ	i
保証の限定	iii
ご使用のまえに	
安全について	1
標示ラベルの貼付位置	7
各部のなまえ	9
表示部・操作部のなまえとはたらき	12
稼働期前の確認と作業	14
運転のしかた	
運転前の確認と作業	17
張込運転	21
送風運転	25
各種乾燥運転の説明	27
乾燥運転	29
排出する前の水分確認	35
胴割れの確認	36
排出運転	37
排出運転（糶摺機と連動運転する場合）	38
タイマ運転	39
夜間休止運転	40
緊急停止	44
お手入れと保管	
残留穀物の取出しと掃除	45
ネズミの侵入防止	51
機械の保管	52
ハシゴの保管	52
電池の交換方法	53
時刻設定の方法	53
困ったとき	
アラーム表示される異常・故障	54
アラーム表示されない異常・故障	56
異常・故障の場合の処置方法	58
その他	
張り込みすぎの場合の穀物取出方法	75
オプション部品	76
消耗部品	79
機械の仕様	80
機体寸法	81
保証とアフターサービス	83
メンテナンスブック	
緊急時の連絡先	巻末

ご使用のまえに

運転のしかた

お手入れと保管

困ったとき

その他

安全について



●この機械の操作および保守・点検を行う場合は、必ずこの取扱説明書の指示・警告に従ってください。

もし、疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「緊急時の連絡先」に問い合わせるまで、作業を進めてはいけません。

1. 安全標示の種類と意味

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の標示で区分して説明しています。標示と意味は次のとおりです。

以下の安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
	この標示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡・重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	この標示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡・重傷を負う可能性または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	この標示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物理損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 危険

ガソリン厳禁



灯油 (JIS 1号)



ガソリン・軽油

ガソリン・軽油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

換気必要

窓や戸を開けて換気をよくしてください。換気しないと不完全燃焼の原因になります。

⚠ 警告

子供を近づけない

子供を、作業通路の近くで遊ばせないでください。また、作業に関係ない人を作業通路内に入れないでください。

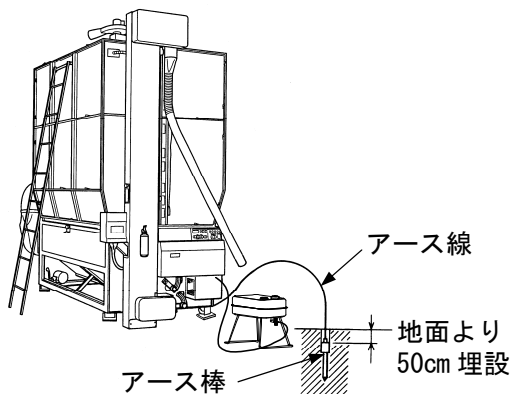
使用する人の制限

過労・病気等で健康状態の悪い人、酒気帯びの人、妊娠している人、機械操作を熟知していない人、若年者は作業および運転操作をしないでください。

作業に適した服装を着用する

長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服（例えばつなぎ）および底のすべらない靴で作業をしてください。
作業時は、ヘルメット、安全靴、必要に応じて防塵メガネ、手袋、マスクを着用してください。

アース線の取付



必ず付属のアース線を取り付け、アース棒で地中に埋設（50cm以上）してください。アース取り付けにより漏電による感電およびノイズ・静電気による誤動作を防止します。

周囲を確かめてから運転開始

運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、互いに合図を交わし作業してください。

警告

カバー類を取り付けて運転



カバー類はすべて取り付けて運転してください。カバーを取り付けないと、駆動部でけがをするおそれがあります。

ホッパの奥へ手を入れない



運転中はホッパの奥へ手を入れないください。スクリュでけがをするおそれがあります。

**天井の上に上がらない
(お客さまはハシゴを使用しないでください)**

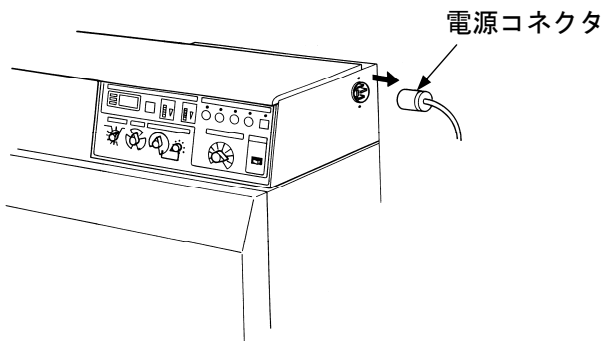


天井の上に上がらないください。転落し、重傷を負うおそれがあります。

**タンク内に入らない
(お客さまはハシゴを使用しないでください)**

タンク内に入って作業をしないでください。転落や粉塵を吸い込み、重傷を負うおそれがあります。

掃除・点検時は電源コネクタを抜く



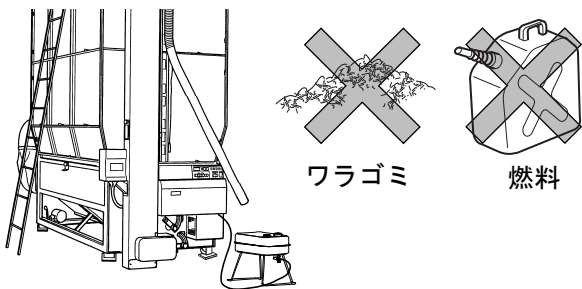
各部の掃除・点検をする場合は、[電源スイッチ]を[切]にし、電源コネクタを抜いて行ってください。電源コネクタを抜かないと、点検中感電するおそれがあります。

消火器の設置

乾燥機のそばには常時、消火器を設置しておいてください。(消火器は付属していませんので、お客さまにて準備してください)

警告

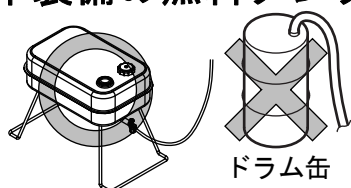
周囲に可燃物を置かない



乾燥機周囲 2m以内にワラ屑、燃料などの可燃物を置かないでください。燃料タンクは機械の側面から 1m以上離して置いてください。火災の原因になります。

また、運転中、乾燥機の周りにワラ屑などのゴミが浮遊しないような環境にしてください。乾燥機が吸引して火災の原因となります。

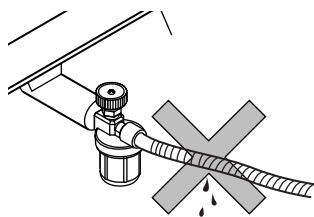
標準装備の燃料タンクを使用



燃料タンクは標準装備のものを使用し、機械と同一の床に置いてください。

ドラム缶から直接配管しないでください。異常燃焼の原因になります。

機械を停止して給油・灯油漏れのないよう配管



給油は機械を停止して行ってください。

また、パイプから灯油が漏れないように配管してください。

給油時は火気厳禁です。

運転前の掃除

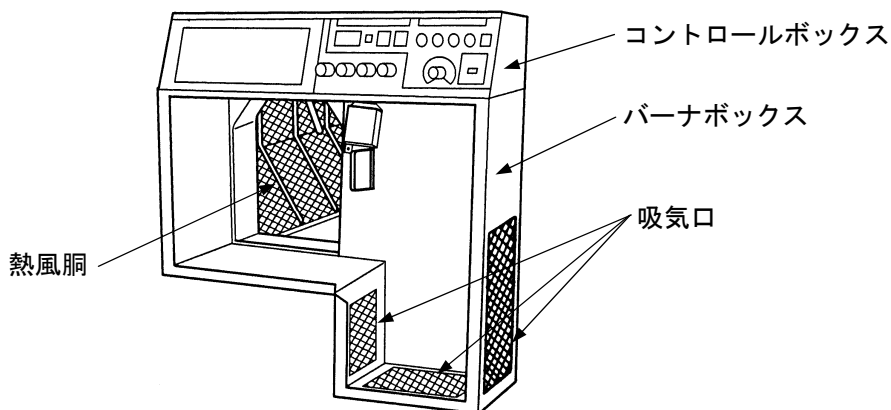
乾燥運転前に、熱風胴・バーナボックス内およびバーナの掃除をしてください。

掃除をしない場合、火災や異常燃焼の原因となるおそれがあります。

(掃除方法については、48ページを参照してください)

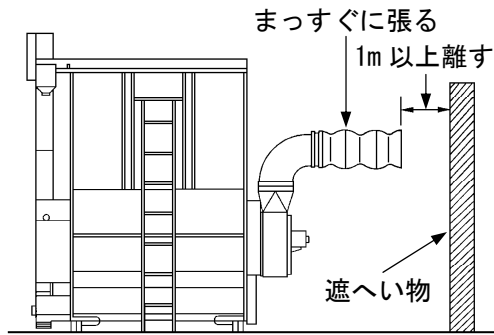
また、バーナボックスの吸気口に、遮へい物になるような物を置かないでください。

万一ふさがれた場合、火災や異常燃焼の原因となるおそれがあります。



警告

排風ダクトを確実に接続する



排風ダクトは確実に接続してください。確実に接続されていない場合、排風ダクトのすきまからゴミ・ホコリが乾燥機周辺に飛散し、火災の原因となるおそれがあります。

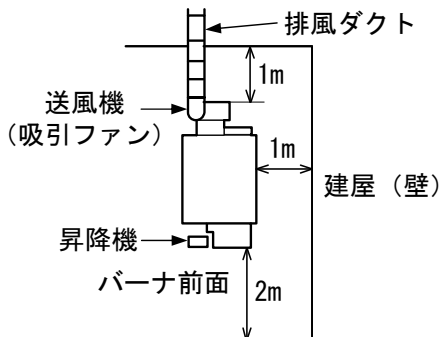
排風ダクトはまっすぐに張り、遮へい物からダクト先端を1m以上離してください。

また、排風ダクトを絞ったり急激に曲げたりしないでください。

乾燥が遅くなったり、バーナの不完全燃焼の原因になります。

注意

機械周辺の作業通路を確保



機械周辺の作業通路を確保してください。作業通路はバーナ前面で2m以上、側面・後面で1m以上必要です。狭いと部品交換や掃除ができなくなります。

刈取後4時間以内に送風

刈取後4時間以内に乾燥機に張り込み、送風運転または乾燥運転してください。

コンバインの袋に長時間放置すると穀物が熱により変質しヤケ米になります。

ワラ屑を取り除いて張り込む

ワラ屑を取り除いて張り込んでください。原料穀物内にワラ屑が入っている場合は、乾燥機内で詰まり、循環ムラとなることがあります。

注意

不純灯油・変質灯油使用禁止

不純灯油（水・ゴミなどが混入したもの）、変質灯油（一夏もち越した灯油・日光に当たる場所や温度の高い場所に保管した灯油）は絶対に使用しないでください。

【乾燥速度スイッチ】の設定注意

下記に示すような場合は安全のため「速い」に設定しないでください。

胴割れが増加する危険性があります。

- (a) 原料中に未熟粒が多い粉
- (b) 原料中に胴割れがある粉
- (c) 原料に脱ぷ・開えい（粉殻が開いている）がある粉
- (d) 胴割れしやすい品種の粉
- (e) 空気が乾燥している（湿度 60%以下）場合

ラジオ他通信機器へのインバータによる影響について

送風機の駆動にインバータを使用しています。インバータが動作すると電波の弱い地域や通信機器の配線状況によっては、雑音が入ったり誤作動となる場合があります。そのような場合には、お買い上げの販売店またはJAにご相談ください。

標示ラベルの貼付位置

この機械には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容について、十分に時間をかけて理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図 1 および図 2 を参照してください。

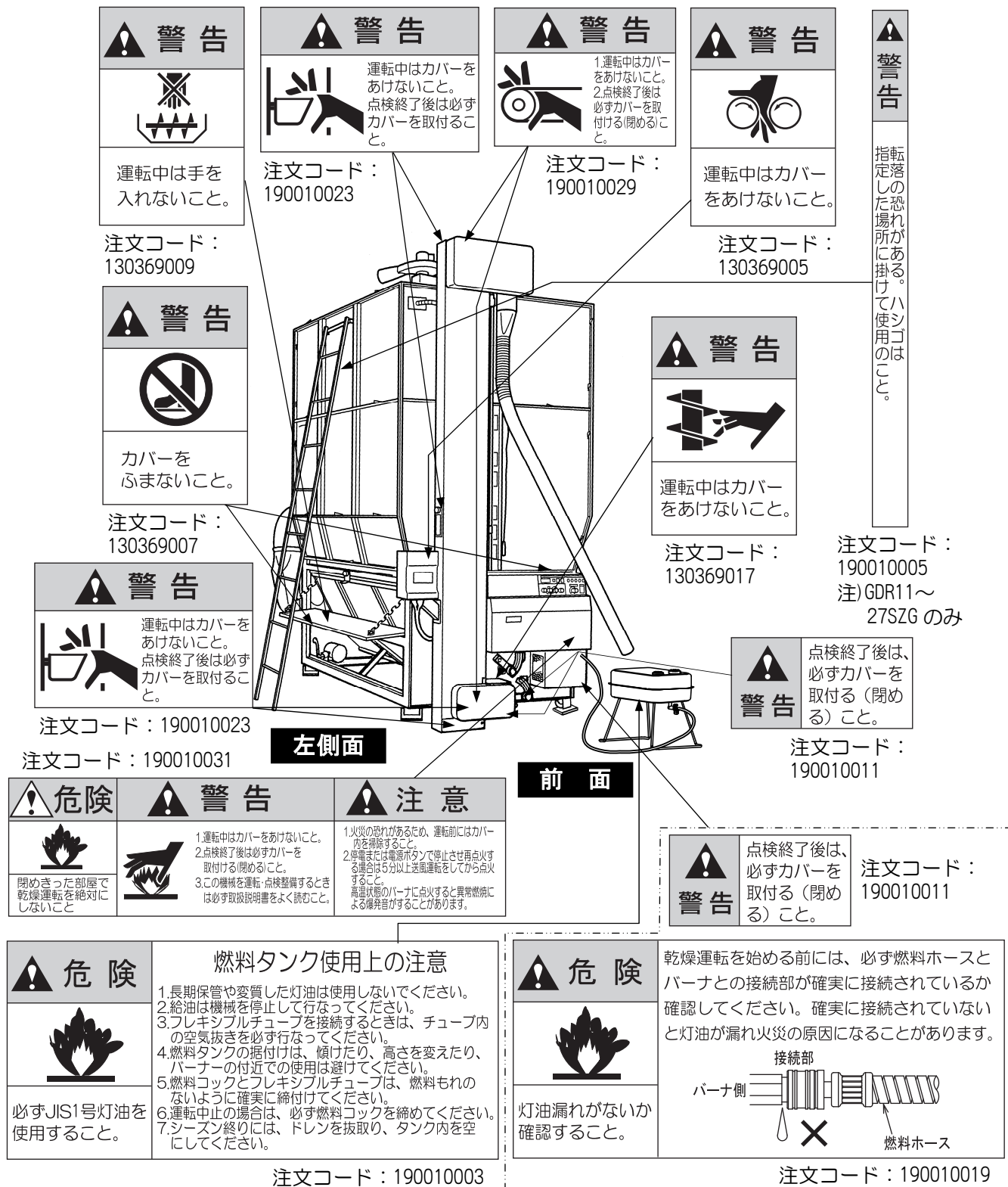


図 1 標示ラベル貼付位置 (1)

《図は GDR15・18・21・24・27SZG です》

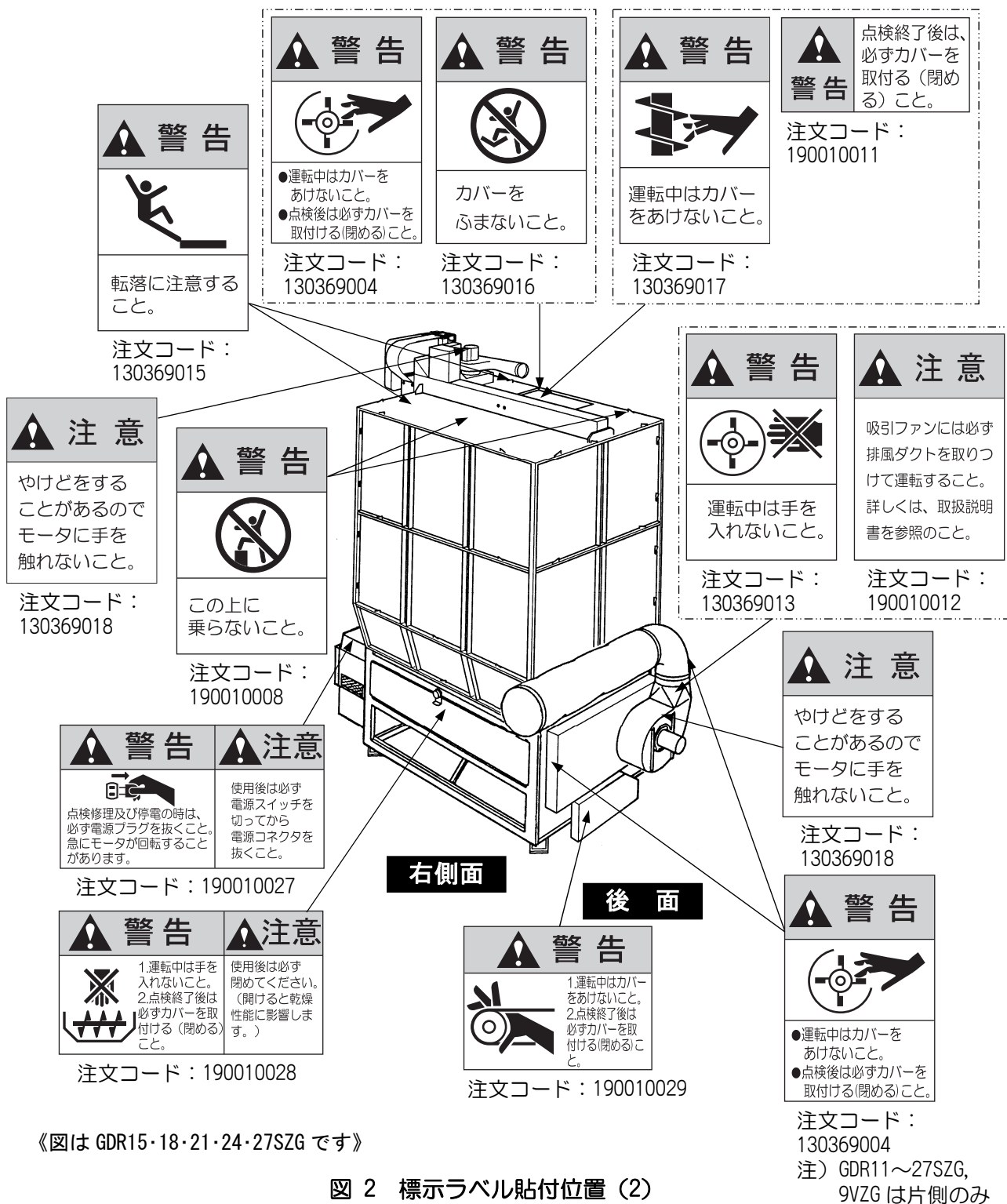


図 2 標示ラベル貼付位置 (2)

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルの交換の必要があります。
お買い上げの販売店またはJAにお問い合わせください。
問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

<GDR11・13・14SZG>

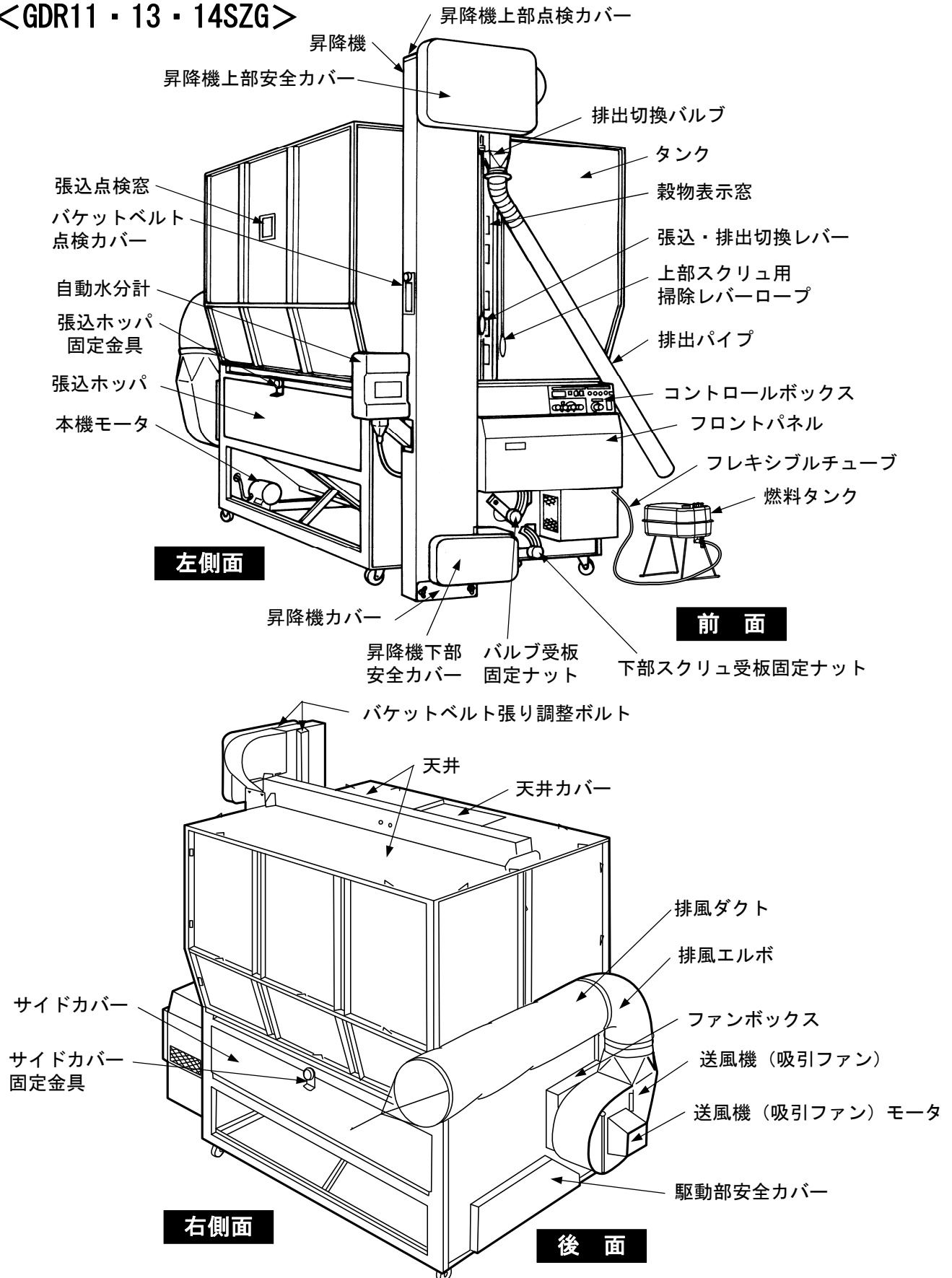


図 3 機械全体図 (1)

<GDR15・18・21・24・27SZG>

ご使用のまえに

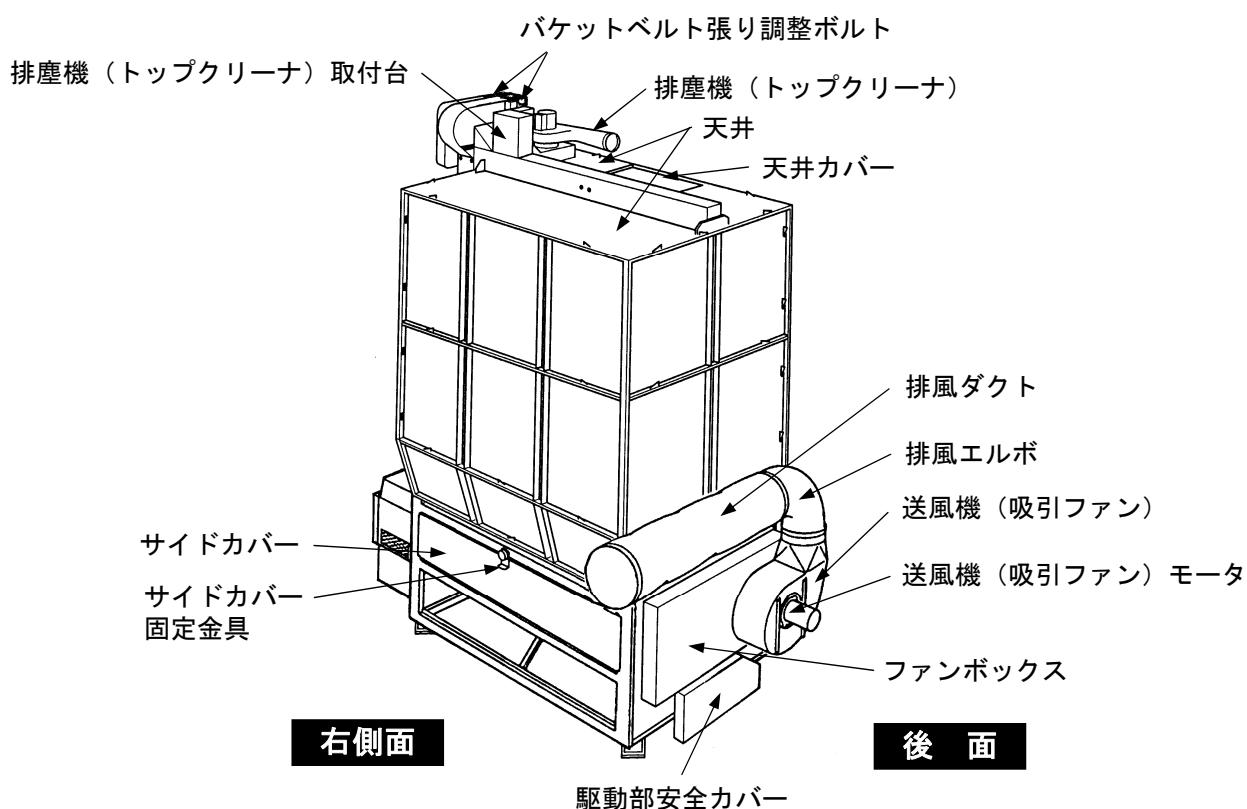
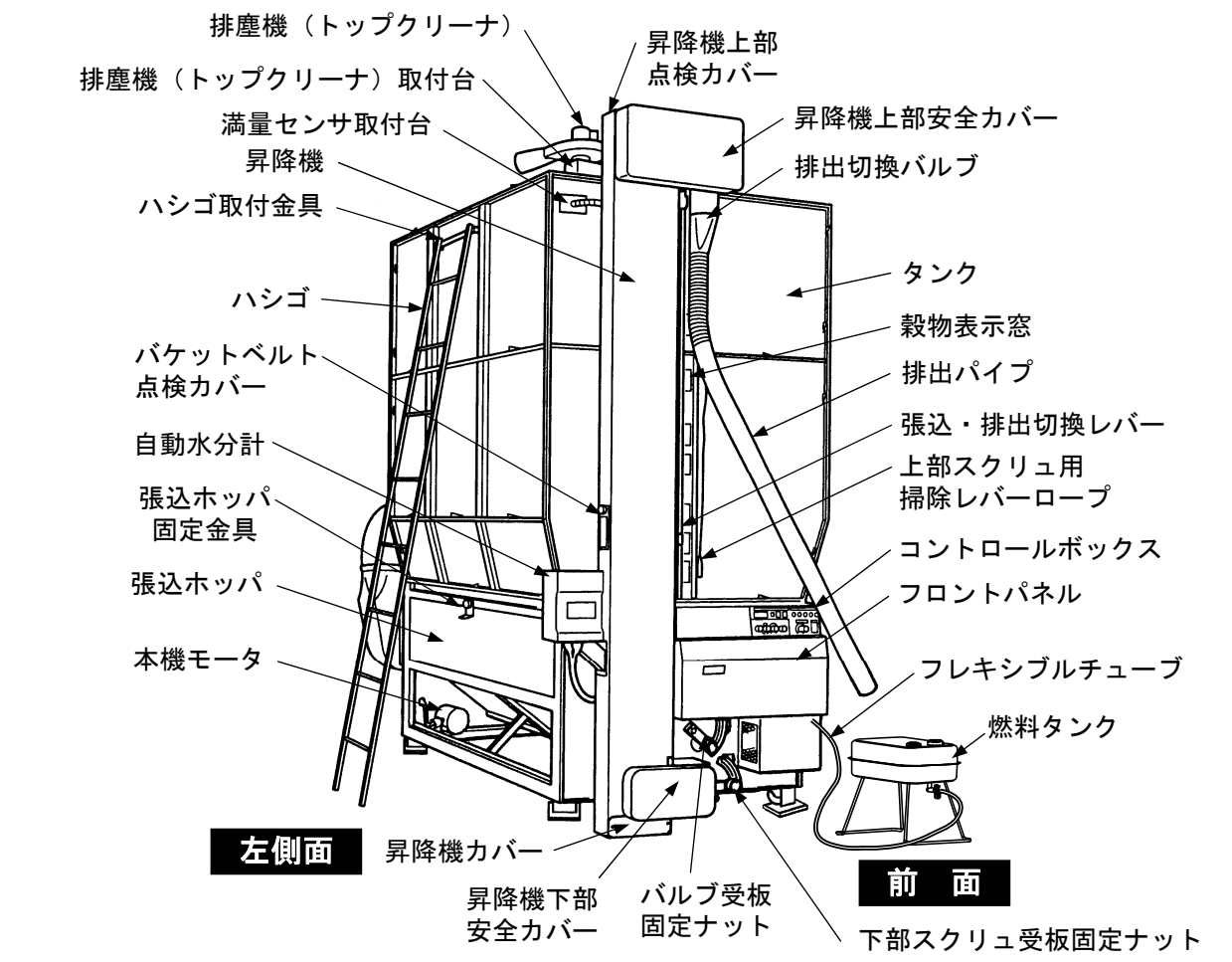


図 4 機械全体図 (2)

<GDR9VZG>

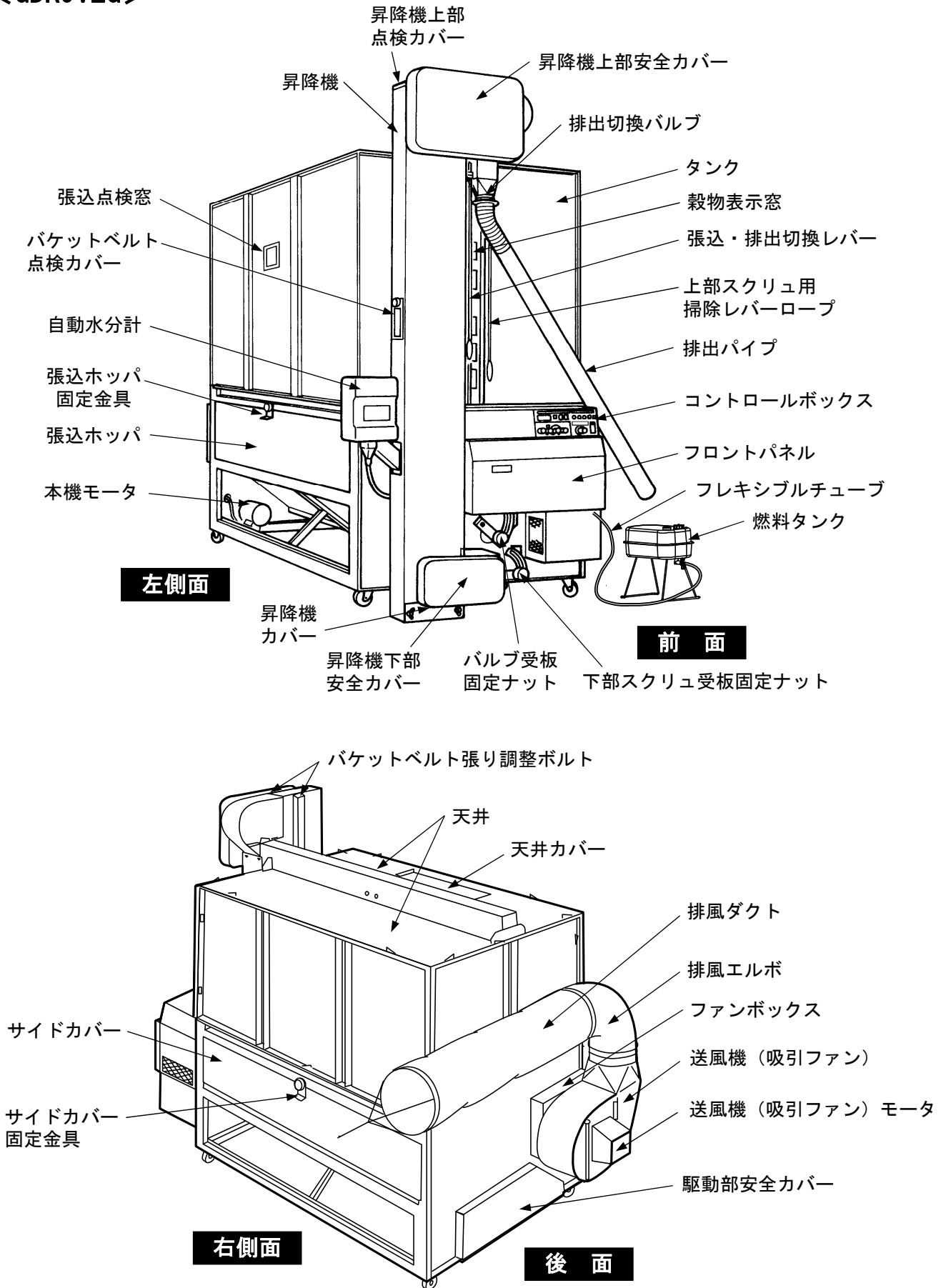


図 5 機械全体図 (3)

表示部・操作部のなまえとはたらき

「使用のまえに

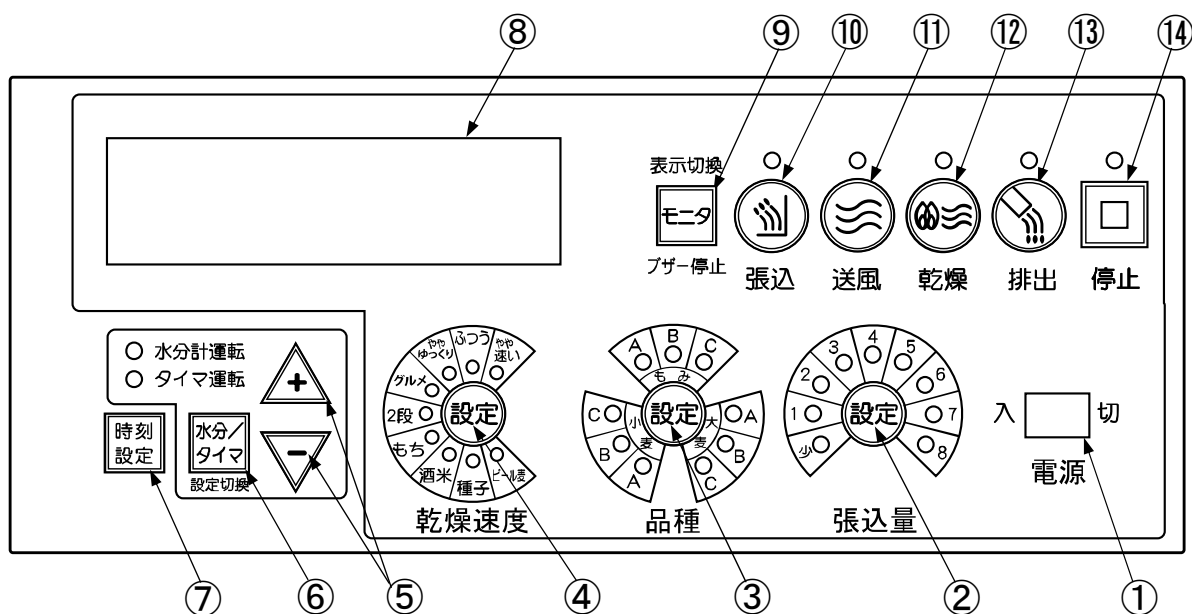


図 6 コントロールボックス外観図

番号	名称	機能
①	電源スイッチ	電源の [入]、[切] をします。
②	張込量スイッチ	張込量を設定します。 [少量] [1] [2] に設定した場合は、品種を粳にするとバーナが間断燃烧します。(15~27SZGでは [2] の場合、連続燃烧となります) (13ページ参照) 9~27石まで操作部共通のため、型式によっては使用しない張込量があります。 (13ページ参照)
③	品種スイッチ	品種を設定します。
④	乾燥速度スイッチ	乾燥速度を設定します。
⑤	+、- スイッチ	仕上水分・タイマ運転時間・夜間休止運転時間等を設定します。
⑥	水分/タイマスイッチ	自動水分計運転・タイマ運転・夜間休止運転の設定をします。
⑦	時刻設定スイッチ	時刻を設定します。
⑧	モニタ表示部	熱風温度、穀物水分、運転残時間等を順次表示します。 アラームが発生した場合は、メッセージを表示します。
⑨	モニタスイッチ	アラーム発生時に押すと、ブザー音が止まります。 運転中に押すと、「水分のバラツキ」と「未熟米の割合」を表示します。
⑩	張込スイッチ	張込運転を行うとき押します。
⑪	送風スイッチ	送風運転を行うとき押します。
⑫	乾燥スイッチ	乾燥運転を行うとき押します。
⑬	排出スイッチ	排出運転を行うとき押します。
⑭	停止スイッチ	各運転を停止するとき押します。

バーナ間断燃焼乾燥

- [品種スイッチ] を [もみA] ~ [もみC]、[張込量スイッチ] を [少] [1] [2] に設定すると、バーナは連続燃焼ではなく間断燃焼します。
(GDR15-27SZGでは [2] は連続燃焼となります)
- GDR11・13・14SZGおよび9VZGで張込量 [少] [1] の場合、バーナは30分間燃焼、30分間休止を繰り返します。
- GDR11・13・14SZGおよび9VZGで張込量 [2] の場合、バーナは90分間燃焼、30分間休止を繰り返します。
- GDR15~27SZGで張込量 [少] の場合、バーナは30分間燃焼、30分間休止を繰り返します。
- GDR15~27SZGで張込量 [1] の場合、バーナは45分間燃焼、30分間休止を繰り返します。
- いずれの場合も設定の仕上水分になると自動停止します。
- [品種スイッチ] を [小麦] [大麦] に設定した場合は、バーナは連続で燃焼します。
- バーナ間断燃焼運転中に連続燃焼の設定に切り換えた場合、運転休止終了後、連続燃焼へ切り換わります。
- バーナ連続運転中に間断燃焼の設定に切り換えた場合、切り換えた後、上記の時間燃焼し、休止と燃焼を繰り返します。

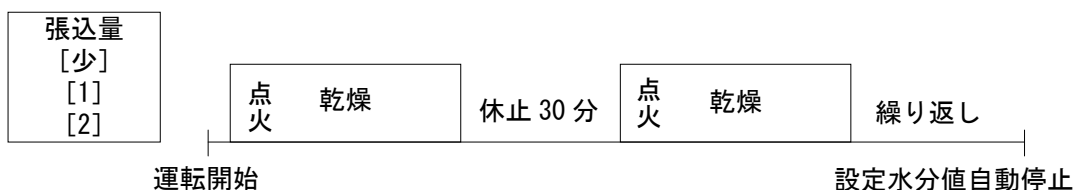


図 7 バーナ間断乾燥運転図

警告

- 休止中は、モニタ表示部に「運転休止中」と表示し、[停止スイッチ] ランプが点滅します。また、すべてのモータが停止します。
- 休止中は、モータが停止していますが、点検・整備などを行わないでください。休止後、乾燥運転が自動で始まり、駆動部に巻き込まれるなど危険です。

表 1 型式による張込量の設定

型式・区分	使用しない張込量
GDR9VZG	4~8
GDR11SZG	5~8
GDR13・14・15SZG	6~8
GDR18SZG	7, 8
GDR21SZG	8

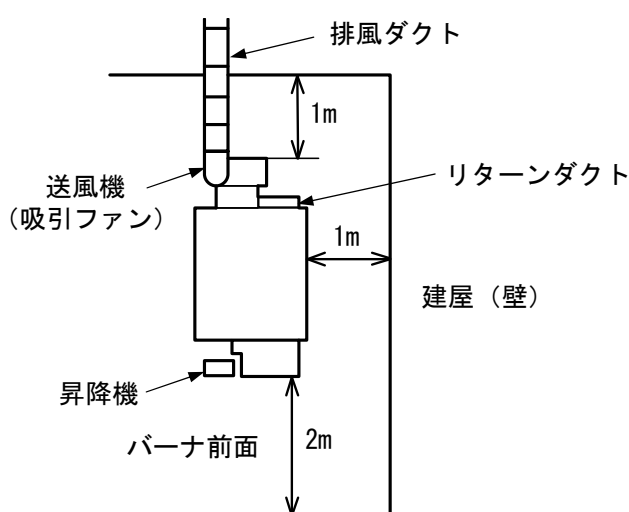
※9 石から 27 石まで操作部共通のため、型式によっては使用しない張込量があります。

稼働期前の確認と作業

警告

- 作業を行う前に、[電源スイッチ] を切り、電源コネクタを抜いてください。

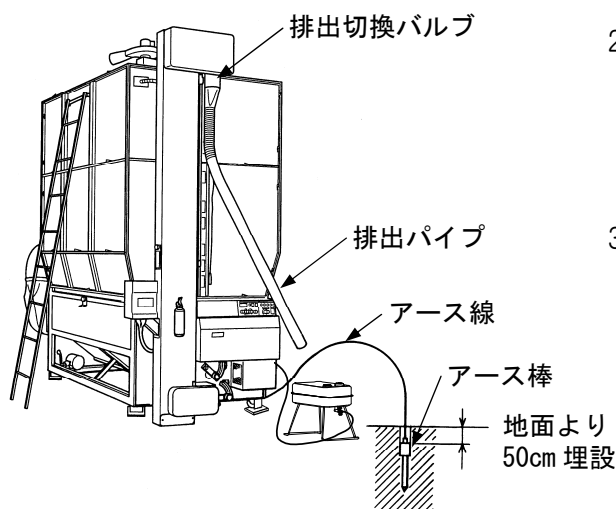
1. 稼働期前の確認



- 1) 機械周辺の作業通路に、障害物がないことを確認します。
- 作業通路は、バーナ前面で機械から2m以上、その他の場所で機械から1m以上必要です。

注意

- バーナおよび排風ダクト口、リターンダクト吸込口には、突風が入らないように注意してください。乾燥性能に影響します。



- 2) 排出切換バルブと排出パイプ間に静電気防止用アース線が取り付けられていることを確認します。
- 3) アース棒が地中に埋設 (50cm以上) されていることを確認します。

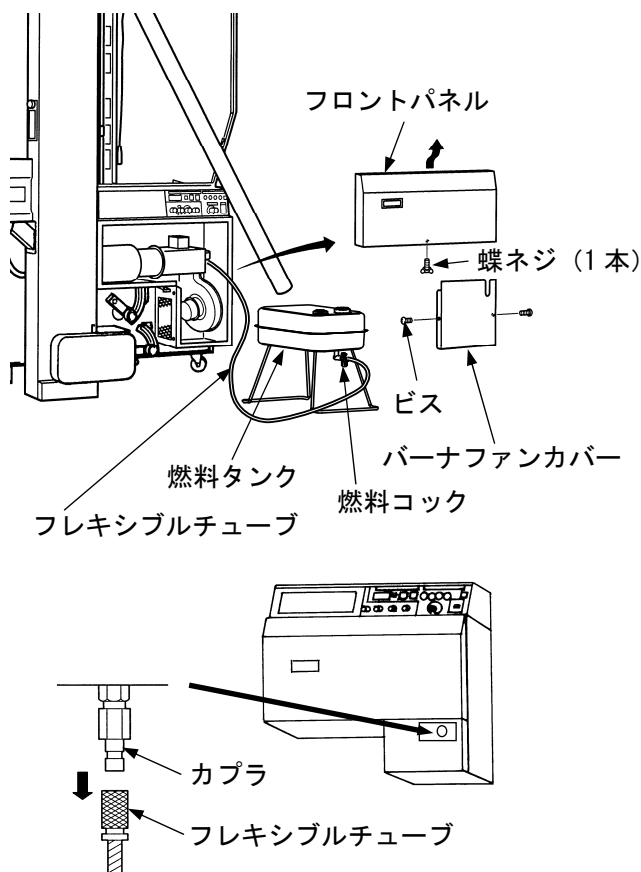
2. 熱風胴、バーナボックス内の掃除

警告

- 熱風胴、バーナボックス内、およびバーナ周辺には、燃えやすいゴミなどが溜まらないように、ブラシを使うなどして、よく掃除してください。ゴミが溜まった状態で乾燥した場合、火災や異常燃焼の原因となるおそれがあります。

注意

- バーナは重量物です。取り出すとき、組み付けるときに、腰を痛めたり、足の上に落とさないように注意してください。
- バーナボックス内および熱風胴内を掃除するときは、風圧センサや温度センサを曲げたり、傷つけたりしないでください。



1) 機械のバーナボックス内と熱風胴内の掃除を行います。

(a) 燃料タンクの燃料コックを閉めます。

(b) フレキシブルチューブをカプラから外します。

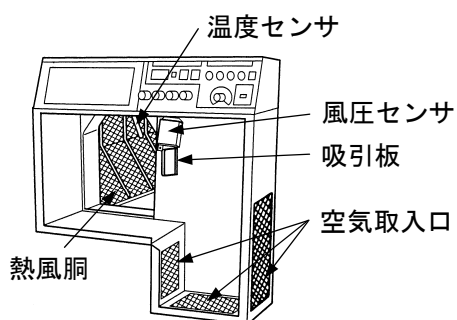
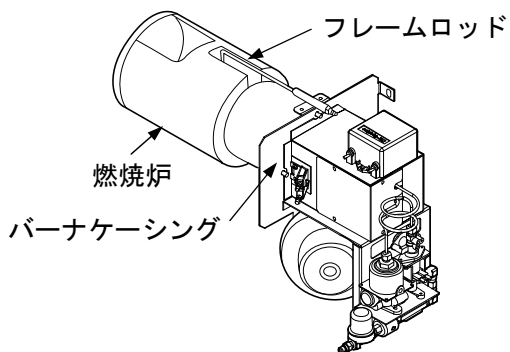
(c) フロントパネルを外します。

● 蝶ネジを外し、上に持ち上げます。

(d) バーナファンカバーを外します。

● ビスを外し、引き出します。

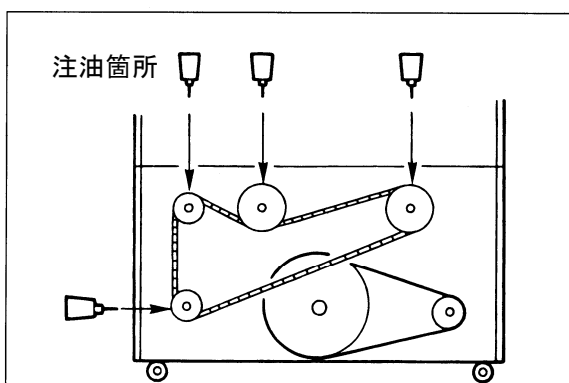
(e) バーナの各コネクタを中継コードから外します。



- (f) バーナを外します。
- (g) バーナボックス内の空気取入口を掃除し
ゴミ・ホコリを取り除きます。
- (h) 熱風胴内のゴミ・ホコリをホウキなどで
取り除きます。
- (i) バーナの燃烧炉にススが付着していれば
取り除きます。
- (j) 掃除が終わったら逆の手順で組み付けま
す。

⚠ 注意

- 燃烧炉はバーナケーシングから取り外さないでください。
- 燃烧炉を掃除する場合、フレームロッドを曲げないように注
意してください。



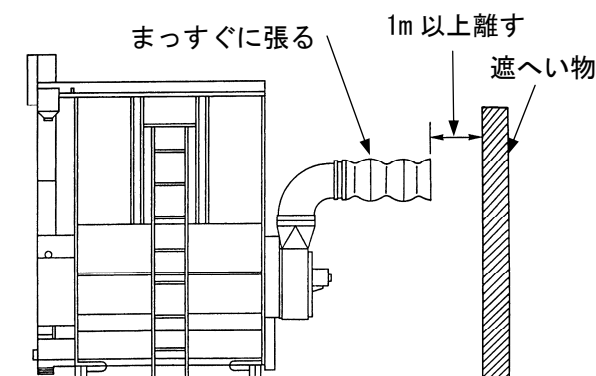
- 2) 運転前には必ず各駆動部（軸受など）を点
検し、適時注油（機械油）します。

運転前の確認と作業

⚠ 注意

- 機械を深夜運転する場合は、騒音などで近所に迷惑をかけないよう配慮してください。

1. 乾燥機周辺の確認

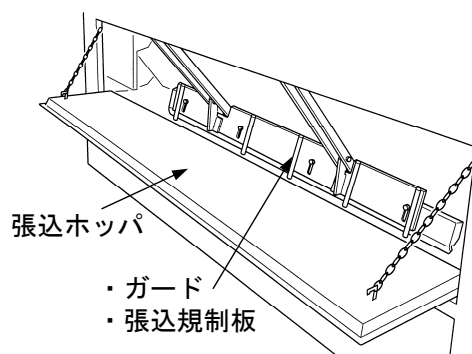


- 1) バーナの周辺 1m 以内にワラ屑・燃料など燃えやすいものがないことを確認します。
- 2) 排風エルボ、排風ダクトを取り付けます。
- 3) 排風ダクトをまっすぐ張り、先端が遮へい物から 1m 以上離れていることを確認します。
- 4) 作業場の窓を開け、換気をよくします。

2. バーナボックス内および熱風胴内のゴミ確認

⚠ 警告

- 乾燥運転の前には、バーナボックス内と熱風胴内の掃除を行ってください。掃除を行わない場合は、火災が発生することがあります。



- 1) 張込ホッパ内を確認します。
 - GDR11・13・14SZG および 9VZG の場合はホッパ内にガードが取り付けられているのを確認します。
 - GDR15・18・21・24・27SZG の場合はホッパ内に張込規制板が取り付けられているのを確認します。

3. 各モータの回転の確認

1) 各部のカバーが取り付けられていることを確認します。

2) 各モータの回転を確認します。

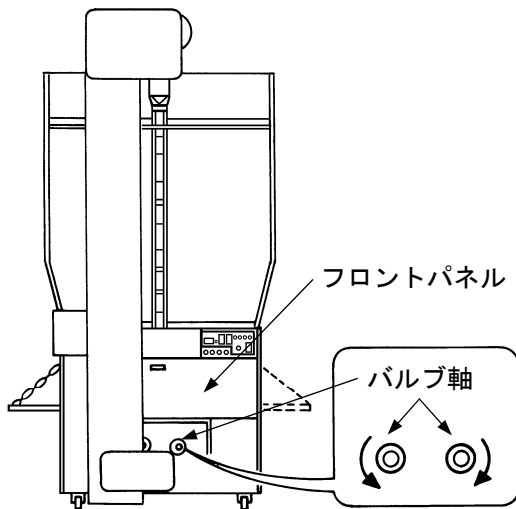
(a) コントロールボックス操作部の右下にある「電源スイッチ」を「入」にします。

入 切
電源

警告

- 周囲の安全を確かめてから、運転を開始してください。
- 2人以上で作業を行う場合は、互いに合図を交わし作業を行ってください。

運
転
の
し
か
た



(b) 「排出スイッチ」を押します。

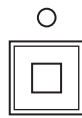
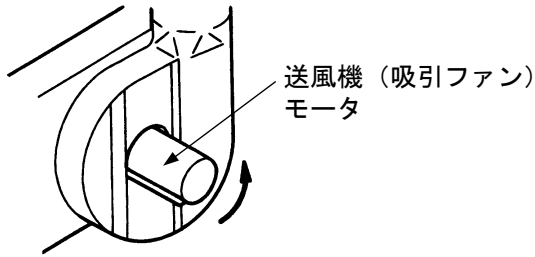
- 「排出スイッチ」ランプ（緑色）が点灯します。

(c) バルブモータが回転しているを確認します。

- バルブモータの回転方向は、フロントパネル下の左右のバルブ軸を見て確認できます。
- ロータリバルブ軸を正面より見て、右のバルブ軸は右回転、左のバルブ軸は左回転します。

(d) 本機モータの回転および回転方向を確認します。

- 本機モータの回転方向は、張込ホッパを開いて下部スクリュを見て確認できます。
- 下部スクリュは、昇降機側に搬送する方向に回転します。



停止

(e) 送風機 (吸引ファン) モーターの回転および回転方向を確認します。

- 送風機 (吸引ファン) モーターの回転方向は、モーターの後ろから確認します。
- 送風機 (吸引ファン) モーターの回転方向は、モーターの後ろから見て左回転です。

(f) [停止スイッチ] を押します。

- [停止スイッチ] ランプ (赤色) が点灯します。

(g) [電源スイッチ] を [切] にします。

4. 燃料タンクに灯油を給油する

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息を吹きかけます。
(火の気のない所でしてください)

灯油



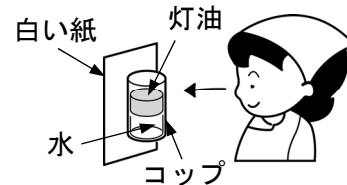
ガソリン



危険

- ガソリン、軽油、変質灯油、不純灯油は絶対使用しないでください。
- 必ず、JIS 1号灯油を使用してください。

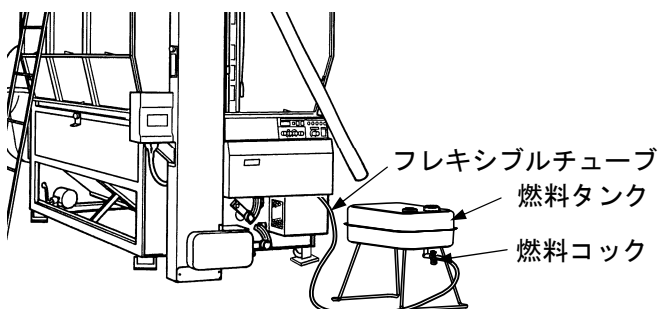
変質のひどいものは、黄色味を帯びたり、すっぱい臭いがします。



5. フレキシブルチューブのエア抜き

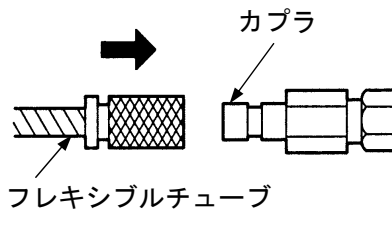
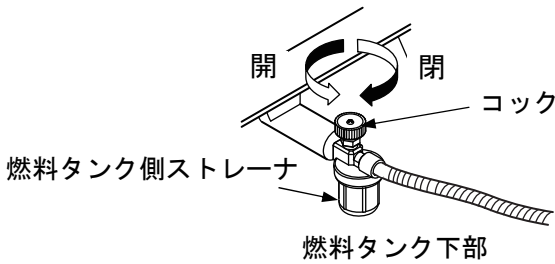
警告

- フレキシブルチューブのエア抜きをする場合、灯油がこぼれるので受皿を用意してください。
- 受皿からこぼれた灯油は、きれいに拭き取ってください。



1) 燃料タンクの燃料コックを閉めます。

2) フレキシブルチューブをバーナ側ポンプのカプラから外します。



- 3) フレキシブルチューブの先端を片手で持ちます。
- 4) 燃料タンク側ストレーナのcockを開きます。
- 5) 先端から灯油があふれ出す前にすばやく指でふさぎます。
- 6) 燃料タンク側ストレーナのcockを閉めます。
- 7) フレキシブルチューブの先端から灯油がこぼれないように注意して、バーナ側ポンプのカプラにフレキシブルチューブを接続します。
- 8) バーナ側ポンプのフレキシブルチューブ接続部より灯油が漏れていないことを確認します。
- 9) 燃料タンク側ストレーナのフィルタエレメントが汚れていないか確認します。
 - ねじ込み式のカップを外します。
 - 汚れがある場合は掃除します。

(50ページ「10. 燃料ストレーナを掃除」参照)

警告

- フレキシブルチューブをカプラに取り付けた後、灯油が漏れていないことを確認してください。

6. カバーの確認

注意

- 昇降機安全カバーなど、高所での確認が必要な場合は、お買い上げの販売店またはJAに依頼してください。

- 1) 各部のカバーが確実に取り付けられていることを確認します。

張込運転

＜張込量の目安＞

張込量の目安を示します。穀物の性状、品種により張込量は変わります。

初回の刈り取りは少なめに刈り取ってください。袋数はコンバイン袋(約 35kg)で計算しています。

表 2 GDR 11・13・14SZG 張込量

穀物の種類	粳		小麦 (参考)		大麦 (参考)	
	張込量設定	袋数	重量 (Kg)	袋数	重量 (Kg)	袋数
少量	9~11	300	9	360	9	340
1	12~13	400	11	450	10	400
2	14~17	600	17	700	15	600
3	18~23	800	23	950	22	850
4	24~31	1100	31	1300	29	1150
5	32~40	1400(1300)	33	1400(1400)	32	1250(1160)

() 内は 13SZG の張込重量を示します。

表 3 GDR 15・18・21・24SZG 張込量

穀物の種類	粳		小麦 (参考)		大麦 (参考)	
	張込量設定	袋数	重量 (Kg)	袋数	重量 (Kg)	袋数
少量	9~11	300	9	360	9	340
1	12~13	400	11	450	10	400
2	14~17	600	17	700	15	600
3	18~25	900	25	1100	24	950
4	26~34	1200	35	1450	33	1300
5	35~43	1500	43	1800	42	1650
6	44~51	1800	51	2150	50	1950
7	52~60	2100	61	2550	59	2300
8	61~69	2400	64	2700	63	2450

表 4 GDR 27SZG 張込量

穀物の種類	粳		小麦 (参考)		大麦 (参考)	
	張込量設定	袋数	重量 (Kg)	袋数	重量 (Kg)	袋数
少量	9~11	300	9	360	9	340
1	12~13	400	11	450	10	400
2	14~17	600	17	700	15	600
3	18~25	900	25	1100	24	950
4	26~34	1200	35	1450	33	1300
5	35~43	1500	43	1800	42	1650
6	44~51	1800	51	2150	50	1950
7	61~69	2400	64	2700	63	2450
8	70~78	2700	—	—	—	—

表 5 GDR 9VZG 張込量

穀物の種類	粳		小麦 (参考)		大麦 (参考)	
	張込量設定	袋数	重量 (Kg)	袋数	重量 (Kg)	袋数
少量	9~11	300	9	360	9	340
1	12~13	400	11	450	10	400
2	14~17	600	17	700	15	600
3	18~25	900	25	1100	24	950

<張込運転操作>

危 険

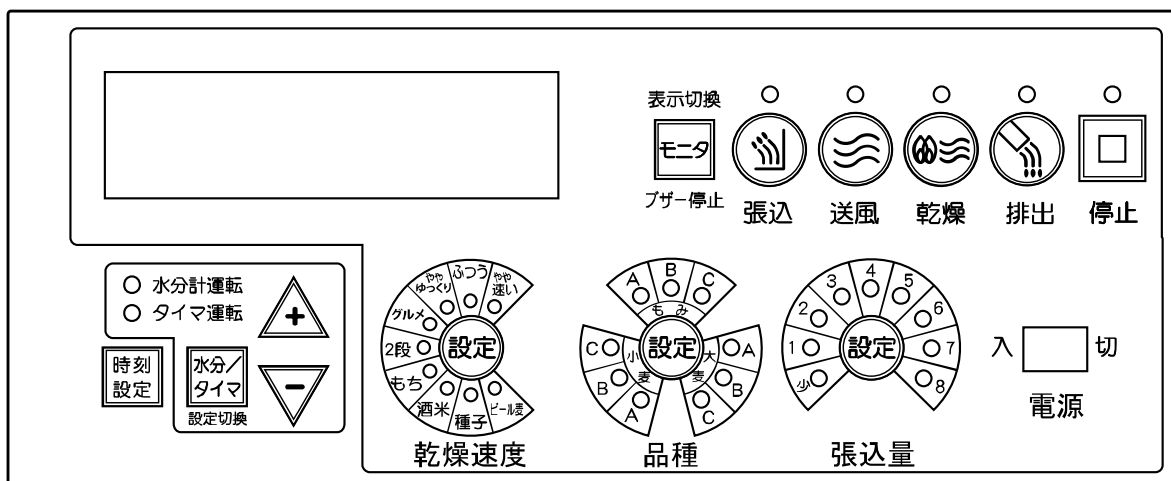
- 乾燥機の天井に上がらないでください。
天井に上がると、転落して、死亡するおそれがあります。

警 告

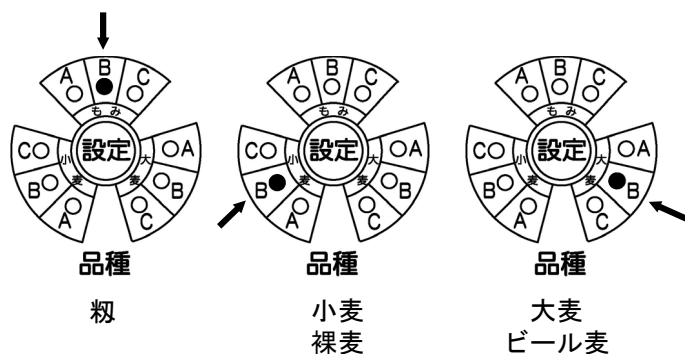
- 張込ホッパ内には絶対に手を入れないでください。
また、張込後は、必ずホッパを閉じてください。

注 意

- 張込前に、前回乾燥した穀物がすべて排出されていることを確認してください。
- 粳、麦以外の穀物は張り込まないでください。
- 穀物品種が変わる場合は、機体の残留穀物を取り出してください。
(45ページ「残留穀物の取出しと掃除」参照)
- ワラ屑などの異物は、乾燥ムラの原因になるため、張込前に取り除いてください。
- 濡れた穀物は乾燥ムラの原因となるため張り込まないでください。
- 午前中刈り取った穀物と午後刈り取った穀物を混ぜて乾燥する場合、午前中刈り取った穀物の水分が多いため乾燥ムラになります。
これを防止するため、午前中刈り取った穀物は、乾燥機に張込後、送風運転してください。(25ページ「送風運転」参照)
- 低水分穀物（水分 18%以下）は、張込ホッパへの投入量を通常の約半分にして張り込んでください。
- 天井から直投入で張り込む場合、均分の片寄りをなくすため、送風運転で張り込んでください。

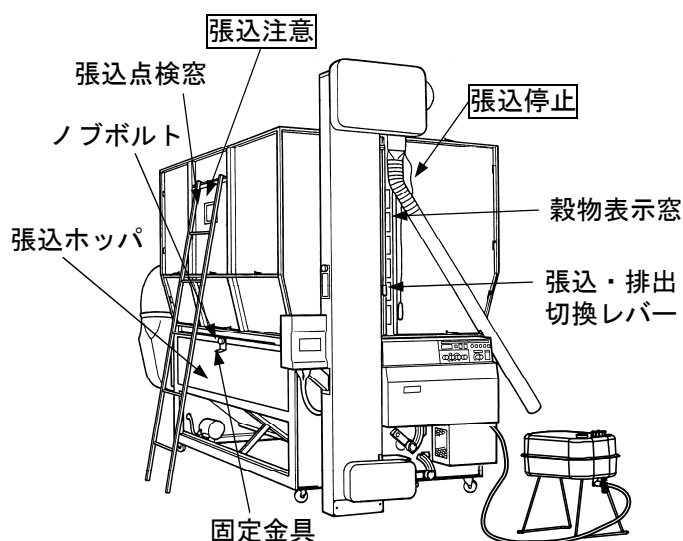


1. [張込・排出切換レバー] を [張込] 側にする
(レバーを押し上げる)
2. コントロールボックスの [電源スイッチ] を [入] にする
3. [品種スイッチ] を下記のように設定する



粳	:	[もみB]
小麦・裸麦	:	[小麦B]
大麦・ビール麦	:	[大麦B]

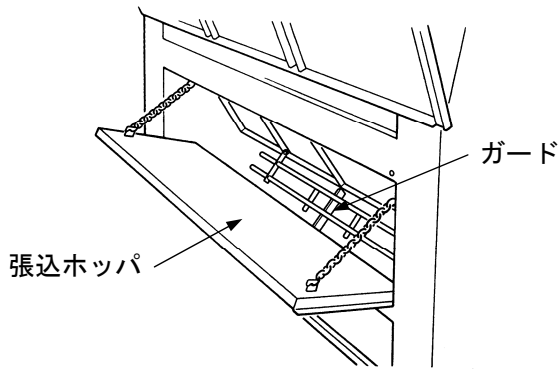
4. [張込スイッチ] を押す
5. 張込ホッパを開ける



- 1) ノブボルトを緩めて固定金具を上側へ回し、張込ホッパを開けます。

⚠ 注意

- ホッパ内のガードあるいは張込規制板にワラゴミが滞留した場合は、張込前に取り除いてください。



6. ホッパから穀物を張り込む

- GDR11・13・14SZG および 9VZG は、**張込停止** 表示位置まで張り込むことができます。
(**張込停止** 表示位置以上に張り込まないでください)
- GDR15・18・21・24・27SZG は満量近くなると、満量センサが作動します。
(「001 穀物が満量になりました」というメッセージを表示します)
- [モニタスイッチ] を押し、ブザーを止めます。

7. タンクの **張込停止** 位置になるまで注意しながら張り込む
8. [停止スイッチ] を押す
9. 張込ホッパを閉じる

⚠ 注意

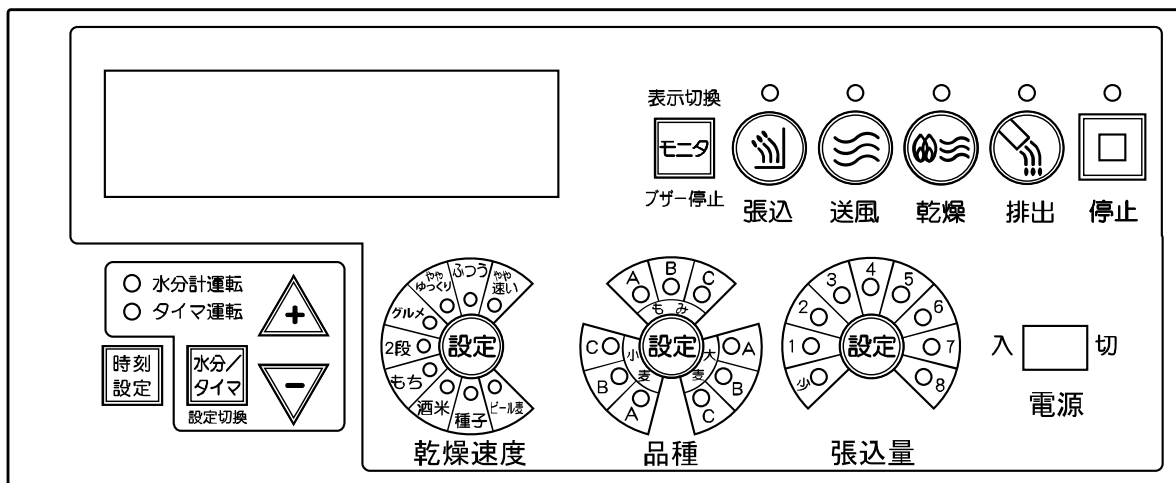
- GDR11・13・14SZG および 9VZG で、タンクの張込点検窓を見て、**張込注意** 表示位置 (**張込注意**) まで張り込んだ場合は、タンクの穀物表示窓を見ながら **張込停止** 表示位置になるまで注意して張り込んでください。**張込注意** 表示位置からコンバイン袋で3~4袋(1袋35kgとして)程度張り込むことができます。(ただし粳の性状によって異なります)
 - 張り込みすぎて乾燥を始めると飛散盤が埋まり、乾燥機が停止することがあります。
-
- 穀物と飛散盤の距離を 10cm 以上開けて張込を中止してください。
 - GDR24・27SZG で麦を張り込む場合は、**麦張込停止** 表示位置以上張り込まないでください。機械故障・損傷の原因となります。
 - 低水分麦(水分18%以下)は、穀物表示窓の **5** を超えて張り込まないでください。機械故障・損傷の原因となります。
 - 粳 300kg、小麦 360kg より少ない量での乾燥はできません。
 - 張込運転時、送風機(吸引ファン)を作動させている場合は、張込ホッパを閉めるときにファンの吸引力で勢いよく閉まる場合がありますので、指・手などをはさまないように注意してください。
 - 張込ホッパを閉めた後は、固定金具を降ろし、ノブボルトを確実に締めてください。

送風運転

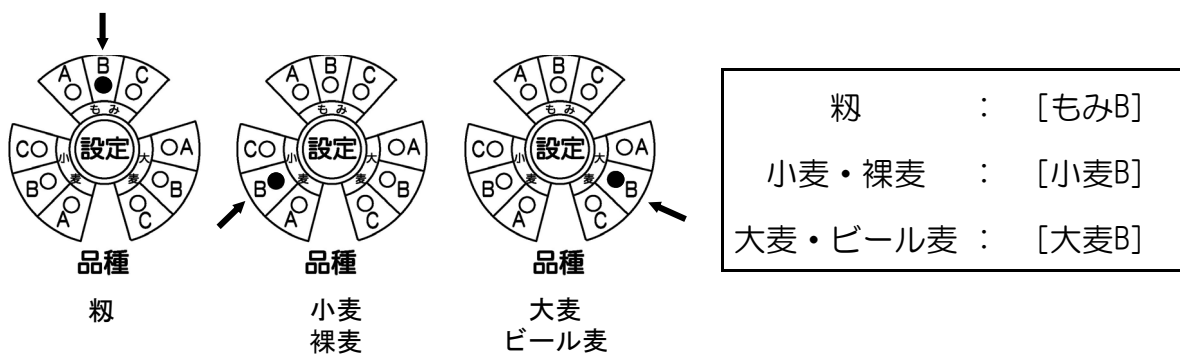
送風運転とは、バーナに点火しないで送風機（吸引ファン）のみ回転させ、風だけで穀物を循環させる運転をいいます。

次のような場合、送風運転を行います。

- 午前中刈り取った穀物と午後刈り取った穀物を混ぜて乾燥する場合、午前中刈り取った穀物の水分が多いため乾燥ムラになります。
これを防止するため、午前中刈り取った穀物は、乾燥機に張込後、送風運転します。
- バーナの故障で乾燥できない場合、穀物の変質を防止するため送風運転します。



1. [電源スイッチ] を [入] にする
2. [品種スイッチ] を下記のように設定する



⚠ 注意

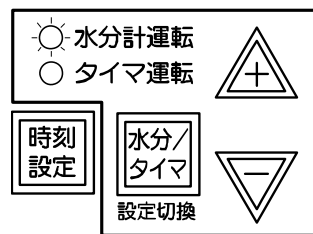
- 過乾燥防止のため、毎年初回の乾燥、または品種が変わった場合は、希望する仕上水分設定よりも0.5~1.0%高く設定してください。

3. 仕上水分を設定する

(1) 水分計運転ランプを点灯させます。

- タイマ運転ランプが点灯している場合、[水分/タイマスイッチ] を押して、水分計運転ランプのみを点灯させます。
 ([水分/タイマスイッチ] を押す毎に「水分計運転」「タイマ運転」「夜間休止運転」の順に切り替わります)
- モニタ表示部に「水分計運転」と表示されます。
 (そのままにしておくと約3秒後に「運転停止中」と表示されます)

(2) [▲ ▼ スイッチ] を押して希望の仕上水分値に設定します。



4. [送風スイッチ] を押し送風運転を開始する

5. 運転途中で送風を停止する場合は、[停止スイッチ] を押す

6. 穀物水分が仕上水分になると、自動停止する

- モニタ表示部に水分値が点灯表示されます。
- [送風スイッチ] ランプが消灯します。
- 機械が自動停止します。

各種乾燥運転の説明

コントロールボックスの「乾燥速度」について説明します。
穀物の性状に合った位置に設定し乾燥運転をしてください。



[やや速い乾燥]

- 穀物を速く乾燥させたい場合、設定します。

⚠ 注意

- 下記に示すような場合は安全のため、[乾燥速度スイッチ] を [速い] に設定しないでください。胴割れが増加する危険性があります。
 - (a) 原料中に未熟粒が多い粉
 - (b) 原料中に胴割れがある粉
 - (c) 原料中に脱ふ・開えい（粉殻が開いている）がある粉
 - (d) 胴割れしやすい品種の粉
 - (e) 空気が乾燥している（湿度 60%以下）場合

[ふつう乾燥]

- 穀物を普通の速さで乾燥させたい場合、設定します。

[ややゆっくり乾燥]

- 穀物を普通の速さよりもややゆっくり乾燥させたい場合、設定します。

⚠ 注意

- 下記に示すような穀物は安全のため、[乾燥速度スイッチ] を [ややゆっくり] に設定してください。
 - (a) 原料中に未熟粒が 15%以上ある粉
 - (b) 原料中に重胴割れが 3%以上ある粉
 - (c) 原料中に脱ふ粒・開えい（粉殻が開いている）が 10%以上ある粉
 - (d) 胴割れしやすい品種の粉

[グルメ乾燥]

- 乾燥時間が長くかかっても食味を低下させたくない場合、設定します。水分が高いときは低温で乾燥し、水分が下がるにしたがって徐々に温度を上げて乾燥します。

[2 段乾燥]

- 原料穀物の水分のバラツキが大きい場合、設定します。
乾燥中の穀物の水分が 18%になると乾燥運転を 5 時間休止し、その後、再び乾燥運転を行い設定水分値で停止します。
2 段乾燥にすると穀物水分のバラツキが少なくなります。

⚠ 警 告

- 休止中は、モニタ表示部に「運転休止中」と表示し、[停止スイッチ]ランプが点滅します。また、すべてのモータが停止します。
- 休止中は、モータが停止していますが、点検・整備などを行わないでください。休止後、乾燥運転が自動で始まり、駆動部に巻き込まれるなど、危険ですので注意してください。

[もち乾燥]

- もち米を乾燥する場合、設定します。
胴割れを生じさせないように、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

[酒米乾燥]

- 酒米を乾燥する場合、設定します。
胴割れを生じさせないように、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

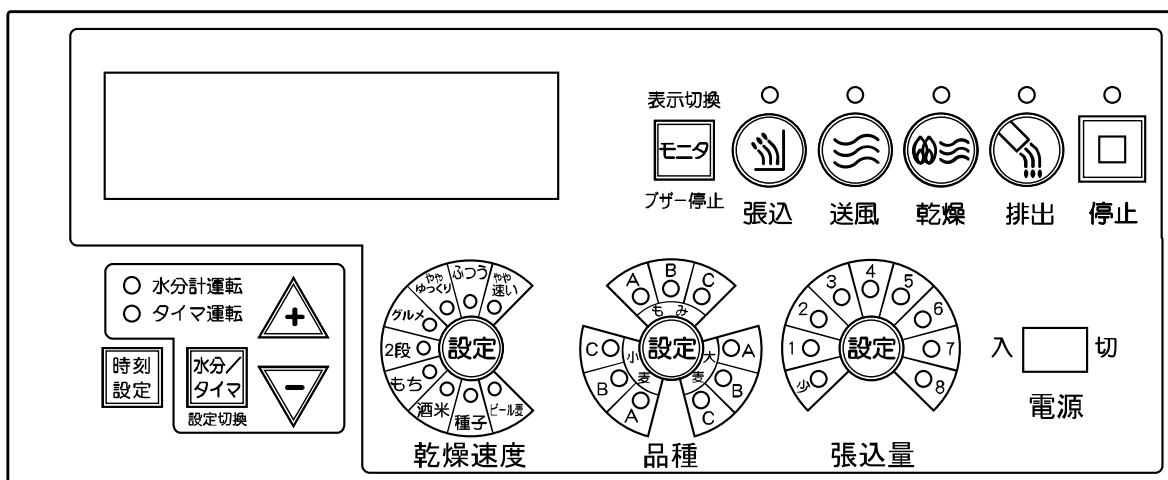
[種子乾燥]

- 種子用の穀物を乾燥する場合、設定します。
発芽率を低下させないように、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

[ビール麦乾燥]

- ビール麦を乾燥する場合、設定します。
発芽勢を低下させないように、低めの熱風温度でゆっくり乾燥します。

乾燥運転



＜ 粉の乾燥運転の注意事項 ＞

1. 原料の品質確認

- 乾燥する前に、必ず原料の品質を確認します。

2. 毎年初回の乾燥、または品種が変わった場合

- (1) 希望する乾燥速度設定よりも一段下げ、ゆっくり乾燥します。
 - 乾燥終了後、仕上がった粉の品質を確認した上で次回の乾燥速度を設定してください。
- (2) [品種スイッチ] を [もみ B] に設定して乾燥を行います。
 - 乾燥終了後、粉水分を手持ちの水分計で確認し 2 回目以降の品種設定を行ってください。(35ページ「3. 水分表示値を合わせる」参照)
- (3) 過乾燥を防止するため希望の仕上水分設定よりも 0.5～1.0%程度高く設定して乾燥を行います。
 - 乾燥終了後、粉水分を手持ちの水分計で確認し 2 回目以降の仕上水分の設定を行ってください。

3. 水分値の確認

(1) 粃の乾燥終了後、排出する前に手持ちの抵抗式水分計で水分を測定し、希望の水分値になっているか確認します。

乾燥後数時間は玄米の水分が粃殻に移り、玄米は少し乾きます。

玄米 (16%)
粃殻 (10%以下)

空気が乾燥している日も乾きます。

未熟米が多い場合、未熟米によって水分が戻ります。

整粒 (15%) 未熟米 (20%)

雨天の日も戻ります。

- 乾燥直後の粃は、玄米の水分が粃殻に移行していないため、手持ちの抵抗式水分計の方がモニタ表示部の水分表示より高めになることがあります。

- 未熟粒（青米）が 10%以上混入している場合は、乾燥後未熟粒の水分が整粒玄米に移り、整粒玄米の水分が高くなる場合がありますので、粃摺前には再度水分を確認してください。

注意

- 濡れた粃を張り込まないでください。

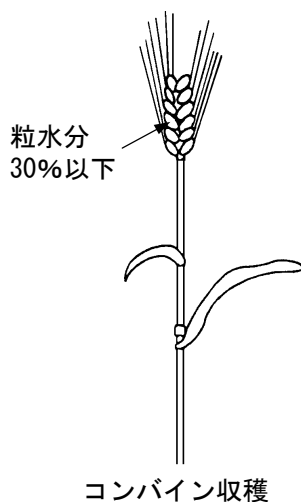
タンクに粃がはりつき循環ムラとなり、乾燥ムラを起こす場合があります。

<麦の乾燥運転の注意事項>

1. 麦用規制板一式の取付

- 麦を乾燥する場合は、必ずオプションの麦用規制板一式を取り付けてください。
取り付けない場合、循環不良、機械故障・損傷の原因となります。
(77ページ「■ 麦用規制板一式」参照)

2. 刈り取りは麦の水分が 30%以下になってから行う



- 高水分麦の場合は、脱穀のとき、損傷が多くなるとともに、乾燥機内で循環が悪くなり、乾燥ムラができます。

3. 高水分麦（水分 30%以上）は穀物表示窓の $\nabla 5$ を超えて張り込まない

- 循環不良の原因となります。
また、変質防止のため、張込終了後は直ちに乾燥運転を行ってください。

4. 低水分麦（水分 18%以下）は穀物表示窓の $\nabla 5$ を超えて張り込まない

- 機械故障・損傷の原因となります。

注意

- 濡れた麦を張り込まないでください。
タンクに麦がはりつき循環しなくなり、乾燥ムラを起こす場合があります。

<乾燥運転方法>

⚠ 注意

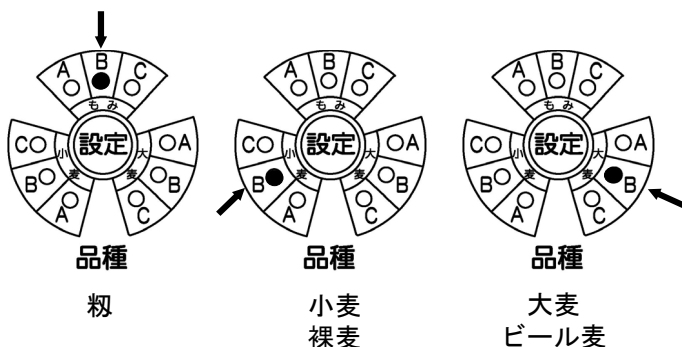
- 下記に示すような場合は安全のため [乾燥速度スイッチ] を [やや速い] に設定しないでください。
胴割れが増加する可能性があります。
 - (a) 原料中に未熟粒が多い粉
 - (b) 原料中に胴割れがある粉
 - (c) 原料中に脱ぶ・開えい（粉殻が開いている）がある場合
 - (d) 胴割れしやすい品種の粉
 - (e) 空気が乾燥している（乾燥機の周辺湿度が 60%以下）場合
- 天候および穀物の性状などの影響により上記の乾燥速度にならない場合もあります。
- 下記に示すような場合は、安全のため [乾燥速度スイッチ] を [ややゆっくり] に設定してください。
 - (a) 原料中の青未熟粒、その他の未熟粒の合計が 15%以上ある粉
 - (b) 原料中の重胴割れが 3%以上ある粉
 - (c) 原料中の脱ぶが 10%以上ある粉
 - (d) 原料中の開えい（粉殻が開いている）が 10%以上ある粉
 - (e) 胴割れしやすい品種の粉

1. [電源スイッチ] を [入] にする

2. [乾燥速度スイッチ] を希望する乾燥に設定する

[乾燥速度スイッチ] を押すと、「乾燥速度」が変わります。
 （「乾燥速度」については、27・28ページを参照してください）

3. [品種スイッチ] を下記のように設定する



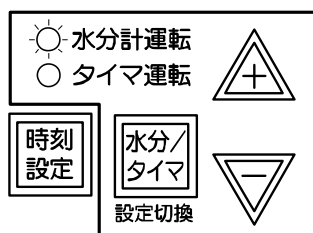
粉	:	[もみB]
小麦・裸麦	:	[小麦B]
大麦・ビール麦	:	[大麦B]

4. 仕上水分を設定する

(1) 水分計運転ランプを点灯させます。

- タイマ運転ランプが点灯している場合、[水分/タイマスイッチ] を押して、水分計運転ランプのみを点灯させます。
([水分/タイマスイッチ] を押す毎に「水分計運転」「タイマ運転」「夜間休止運転」の順に切り替わります)
- モニタ表示部に「水分計運転」と表示されます。
(そのままにしておくと約3秒後に「運転停止中」と表示されます)

(2) [▲▼スイッチ] を押して希望の仕上水分値に設定します。



注意

- 過乾燥防止のため、毎年初回の乾燥または品種が変わった場合は、希望する仕上水分値よりも0.5~1.0%高い水分値に合わせてください。

5. [張込量スイッチ] を張り込んだ穀物表示窓の番号に合わせる

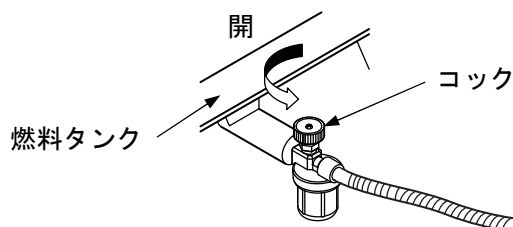


張込量

注意

- 粳 300 kg、小麦 360 kg より少ない量での乾燥はできません。

6. 燃料タンクのコックを開ける



7. [乾燥スイッチ] を押す



- 1) [乾燥スイッチ] ランプ（緑）が点灯し、約 30 秒後にバーナが点火します。
- 2) モニタ表示部に熱風温度・水分・運転残時間等を表示します。
- 3) 運転中 [モニタスイッチ] を押すと、水分のバラツキと未熟米を表示します。

- ご購入後、初回のバーナ点火直後に送風機（吸引ファン）から臭いが出る場合があります。これはバーナの塗料が焼けるもので、しばらくすると出なくなります。乾燥には影響ありませんのでご安心の上ご使用ください。
- モニタ表示部に「004」が点滅しバーナに点火しない場合は、機械が停止した後、再度 [乾燥スイッチ] を押してください。
- [張込量スイッチ] が [少量] [1] [2] の場合はバーナが一定時間の燃焼と休止を繰り返し、乾燥します。（GDR15-27SZG では [2] の場合、連続燃焼となります。13ページ「バーナ間断燃焼乾燥」を参照してください）
なお、休止中は最初の 5 分が送風運転、残り 25 分はすべてのモータが停止します。
- 乾燥途中で乾燥を止める場合は、[停止スイッチ] を押してください。
バーナが消火し、5 分後に機械が自動停止します。

8. 設定した水分値になると、乾燥運転が停止する

9. 燃料タンクのコックを閉める

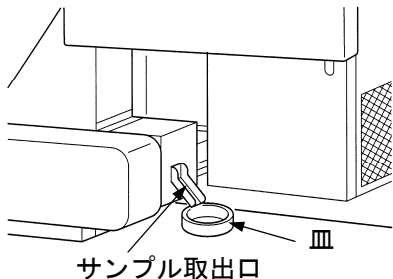


- 運転中は、無人運転をしないでください。やむを得ず乾燥機のそばを離れるときは、2～3 時間に一度、正常に動作していることを確認してください。
- 故障に気付かないで、そのまま運転し続けると、火災などの重大な事故を起こすおそれがあります。

排出する前の水分確認

乾燥が終了して、穀物を排出する前に、次の手順で水分を確認してください。

1. サンプルを取り出す

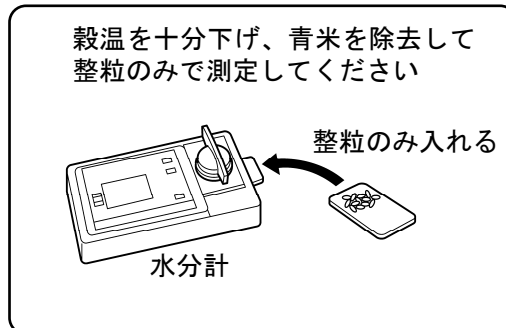
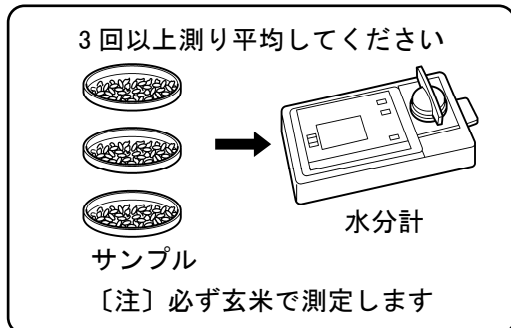


- 1) [送風スイッチ] を押して送風運転します。
- 2) 機械前面下部のサンプル取出口へ皿を受けます。
- 3) サンプル取出口を持ち上げ、サンプルを取り取ります。

2. 手持ちの抵抗式水分計で水分を測定する

注意

- 抵抗式水分計は毎年検査を受けたものを使用してください。
- 抵抗式水分計の電池は、毎年新しいものと交換してください。
- サンプルを外気温度まで冷まし、籾摺りし、整粒のみの玄米で測定してください。
- 測定は3回以上行い平均してください。



3. 水分表示値を合わせる

手持ちの抵抗式水分計で測定した水分値と、乾燥機のモニタ表示部の水分値に差がある場合は、次のようにして合わせるすることができます。



- モニタ表示が約1%高い場合… [品種スイッチ] をBからAにします。
- モニタ表示が約1%低い場合… [品種スイッチ] をBからCにします。

4. 水分値が高い場合は再び乾燥する

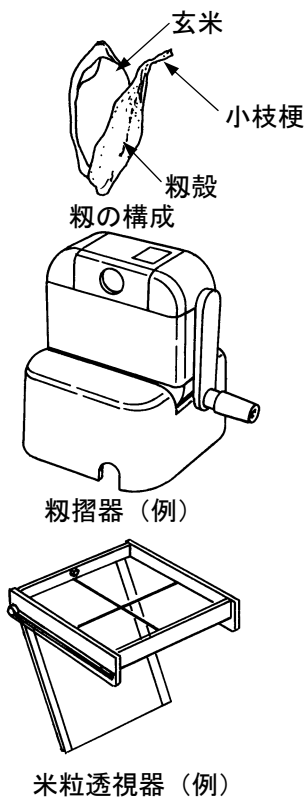
水分値に差があり、まだ乾燥が終了していない場合は、[品種スイッチ] を適正位置に設定した後、再び乾燥を行います。

胴割れの確認

注意

- 原料中に軽胴割れがある場合は、[乾燥速度スイッチ]を「やや速い」に設定しないでください。
- 原料中に重胴割れが3%以上ある場合は、[乾燥速度スイッチ]を「ややゆっくり」に設定してください。

粳は、乾燥前と乾燥終了後に、次の手順で原料の胴割れを確認してください。



1. サンプルを採取する

- 1) 張込時と排出時に4~6回に分けて一握りの粳を採取し、よくかき混ぜます。






2. 粳殻を取り玄米にする

- 1) 胴割れの測定は玄米で行います
- 2) 原料粳は、玄米に傷がつかないように手で粳殻をむきます。
- 3) 仕上粳は、手持ちの水分計に付属している粳搥器で玄米にします。

3. 胴割れを測定する

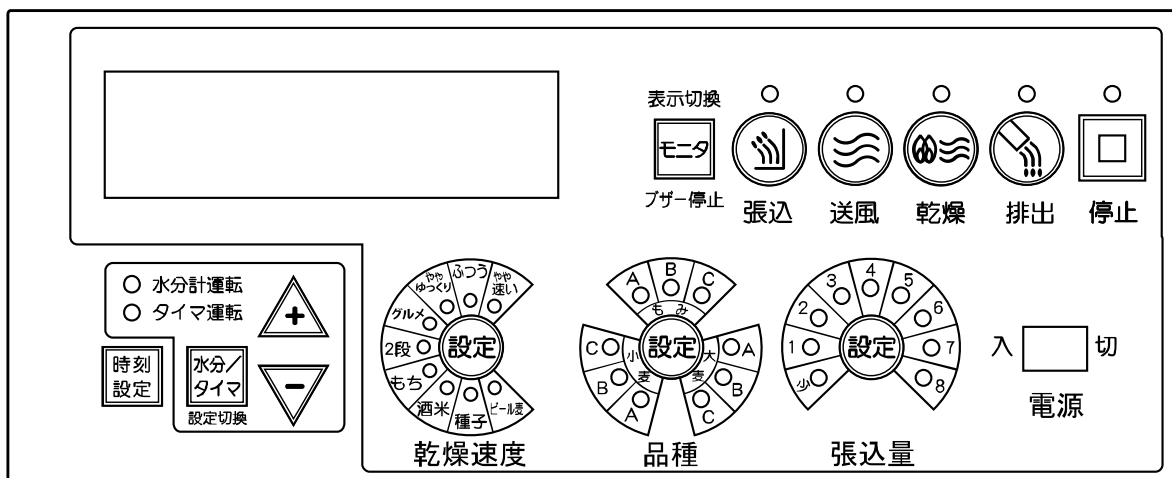
- 1) 玄米100粒を米粒透視器の上に均等に並べ、下から光を透過させます。
- 2) ピンセット等で玄米の角度を変え、胴割れ粒を数えます。
- 3) これを2回繰り返して、合計200粒の玄米を測定します。

表6 胴割れの判定

	玄米の状態	
※軽胴割れ 〔被害粒に 入らない〕		内部にわずかにキレツがある
		表面にわずかにキレツがある
重胴割れ 〔被害粒に 入る〕		背部から腹部の側面までキレツが発生している
		横幅に対して2/3以上のキレツが2本発生している
		縦横に、複数本のキレツが発生している

※ 酒米は、軽胴割れも被害粒に入ります

排出運転



⚠ 注意

- 排出前には必ず手持ちの抵抗式水分計で測定をして、希望の水分値になっているか確認してください。(35ページ参照)
- 乾燥終了後はできるだけ早く排出し、乾燥機内に貯蔵しておかないでください。

穀物を排出する場合は、次の手順で行ってください。

1. [排出スイッチ] を押す

- (1) [排出スイッチ] ランプ（緑）が点灯します。
- (2) 張込・排出切換レバーを排出側にします。（レバーを引っ張ります）
- (3) モニタ表示部に排出終了予想時間が表示されます。

2. 運転途中で排出を止める場合は、[停止スイッチ] を押す

- (1) [停止スイッチ] ランプ（赤色）が点灯します。
- (2) 約 5 秒後に排出が停止します。

3. 穀物がなくなると、機械が自動停止する

- (1) [排出スイッチ] ランプが消灯します。

排出運転（糶摺機と連動運転する場合）

排出しながら糶摺りをする場合は、次の手順で行ってください。

1. [電源スイッチ] を [入] にする

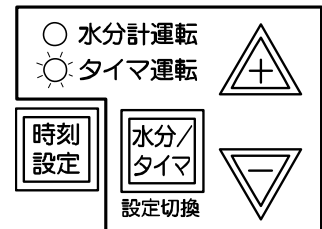
2. 運転時間を設定する

(1) タイマ運転ランプを点灯させます。

- 水分計運転ランプが点灯している場合、[水分/タイマスイッチ] を押して、タイマ運転ランプのみを点灯させます。
（[水分/タイマスイッチ] を押す毎に「水分計運転」「タイマ運転」「夜間休止運転」の順に切り替わります）
- モニタ表示部に「タイマ運転」と表示されます。
（そのままにしておくと約3秒後に「運転停止中」と表示されます）

(2) [▲ ▼ スイッチ] を押し運転時間を設定します。

- 設定時間は3~4時間を目安に設定してください。



3. [排出スイッチ] を押す

(1) [排出スイッチ] ランプ（緑）が点灯します。

(2) 張込・排出切換レバーを排出側にします。（レバーを引っ張ります）

4. 運転途中で排出を止める場合は、[停止スイッチ] を押す

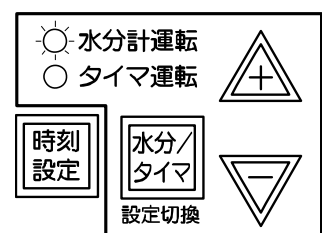
(1) [停止スイッチ] ランプ（赤色）が点灯します。

(2) 約5秒後に排出が停止します。

5. 穀物がすべて排出されたら、[停止スイッチ] を押し作業を終了する

- 排出される前に、設定時間が0.0時間になり自動停止した場合、再度時間設定してください。
水分計による自動停止はしません。

6. [水分/タイマスイッチ] を押し、「水分計運転」に戻す



タイマ運転

タイマ運転は、タイマにより運転時間を設定し自動停止する方法です。

自動水分計が故障した場合等で使用します。次の手順でタイマ運転を行ってください。

1. [電源スイッチ] を [入] にする

2. 運転時間を設定する

(1) タイマ運転ランプを点灯させます。

- 水分計運転ランプが点灯している場合、[水分/タイマスイッチ] を押して、タイマ運転ランプのみを点灯させます。

([水分/タイマスイッチ] を押す毎に「水分計運転」「タイマ運転」「夜間休止運転」の順に切り替わります)

- モニタ表示部に「タイマ運転」と表示されます。

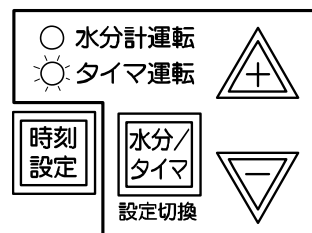
(そのままにしておく約 3 秒後に「運転停止中」と表示されます)

(2) [▲▼スイッチ] を押し運転時間を設定します。

- 設定時間は 1 時間に 0.8% 乾燥することを目安に設定してください。

例えば、25% の粉を 15% まで乾燥するとすれば、
 $25 - 15 = 10\%$ 乾燥ですから $10 \div 0.8 = 12.5$ 時間に設定します。

- 設定値はモニタ表示部に表示します。



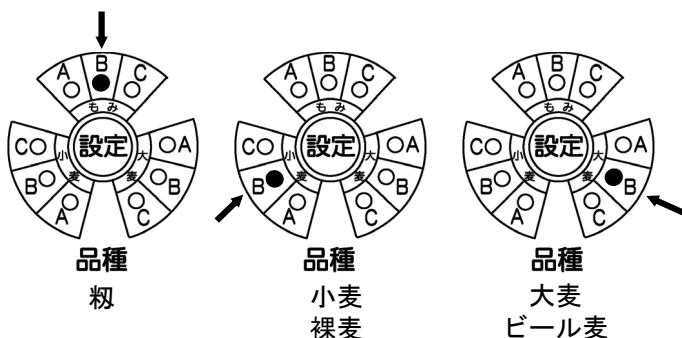
3. [乾燥速度スイッチ] を希望する乾燥に設定する

- [乾燥速度スイッチ] を押すと、「乾燥速度」が変わります。

(乾燥速度については、27・28ページを参照してください)



4. [品種スイッチ] を下記のように設定する



粉	:	[もみB]
小麦・裸麦	:	[小麦B]
大麦・ビール麦	:	[大麦B]

5. 穀物を張り込み、[張込量スイッチ] を張り込んだ穀物表示窓の番号に合わせる

6. [乾燥スイッチ] を押し乾燥を開始する

7. 設定時間になると自動停止する



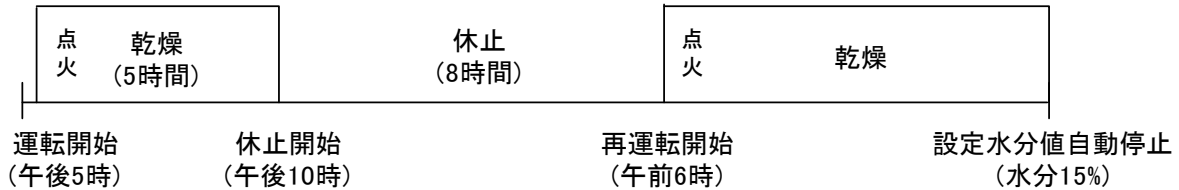
張込量

夜間休止運転

夜間休止運転は、運転の開始から休止までの時間と休止時間を設定することにより、乾燥運転や送風運転を一時的に休止する運転です。深夜に乾燥機を休止させ、朝に運転を自動的に再開し、希望の水分値まで乾燥させたい場合等に使用します。

この運転により、例えば次のような乾燥運転ができます。

- 午後 5 時に[乾燥スイッチ] を押して乾燥運転を開始し午後 10 時までの 5 時間乾燥運転を行い、午後 10 時から翌日の午前 6 時までの 8 時間乾燥運転を休止させ、午前 6 時から仕上水分 15%まで自動で乾燥運転する場合。



- 運転開始から休止までの時間（この場合、5 時間）と休止時間（この場合、8 時間）、希望の仕上水分値（この場合、15%）を設定し運転を開始します。

<夜間休止運転の注意事項>

- 乾燥運転または送風運転中、[停止スイッチ] を押して停止した場合やエラーが発生した場合に再度運転を行う際は設定内容を確認、再設定して運転を開始してください。
- 休止までの時間と休止時間の設定範囲は「0 時間 30 分」～「24 時間 00 分」です。
- 設定された休止時間前に仕上水分となった場合、自動停止し運転を終了します。
- 夜間休止運転時は、2 段乾燥運転ができません。

⚠ 注意

- 穀物が高水分（約 24%以上）の状態では長時間の休止をすると穀物の品質が劣化するおそれがありますので注意してください。

[夜間休止運転方法]

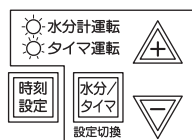
1. [電源スイッチ] を [入] にする

2. 運転開始から休止までの時間と休止時間、仕上水分値を設定する

(1) [水分/タイマスイッチ] を押して、水分計運転ランプとタイマ運転ランプの両方を点灯させます。（[水分/タイマスイッチ] を押す毎に「水分計運転」「タイマ運転」「夜間休止運転」の順に切り替わります）

- モニタ表示部に「夜間休止運転」と表示されます。

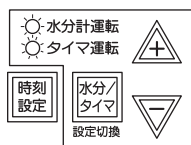
（そのままにしておく約 3 秒後に「運転停止中」と表示されます）



『夜間休止運転』

(2) [▲スイッチ] または [▽スイッチ] を押します

- モニタ表示部には次のように表示されます。

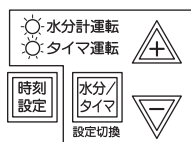


休止まで	: 0 時間 30 分	現時刻
休止時間	: 0 時間 30 分	PM 5 : 00
水分設定	: 15.0%	
設 定	: (+) (-)	決 定 : 水分 / タイマ

(3) [▲▽スイッチ] で運転開始から休止までの時間を設定し、[水分/タイマスイッチ] を押します。

- [▲▽スイッチ] を 1 回押す毎に、10 分単位で設定することができます。

例えば、午後 5 時に運転を開始して午後 10 時に休止させたい場合「休止まで : 5 時間 00 分」と設定し、[水分/タイマスイッチ] を押します。

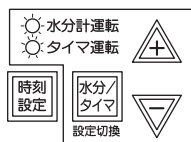


休止まで	: 5 時間 00 分	現時刻
休止時間	: 0 時間 30 分	PM 5 : 00
水分設定	: 15.0%	
設 定	: (+) (-)	決 定 : 水分 / タイマ

(4) [▲▽スイッチ] で休止時間を設定し、[水分/タイマスイッチ] を押します。

- [▲▽スイッチ] を 1 回押す毎に、10 分単位で設定することができます。

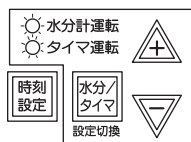
例えば、午後 10 時から午前 6 時まで休止する場合「休止時間 : 8 時間 00 分」と設定し、[水分/タイマスイッチ] を押します。



休止まで	: 5 時間 00 分	現時刻
休止時間	: 8 時間 00 分	PM 5 : 00
水分設定	: 15.0%	
設 定	: (+) (-)	決 定 : 水分 / タイマ

(5) [▲▽スイッチ] で希望の仕上水分を設定し、[水分/タイマスイッチ] を押します。

- 例えば、仕上水分値を 15.0% とする場合「水分設定 : 15.0」と設定し、[水分/タイマスイッチ] を押します。



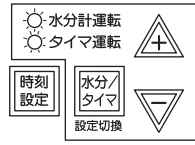
休止まで	: 5 時間 00 分	現時刻
休止時間	: 8 時間 00 分	PM 5 : 00
水分設定	: 15.0%	
設 定	: (+) (-)	決 定 : 水分 / タイマ

⚠ 注 意

- 過乾燥防止のため、毎年初回の乾燥または品種が変わった場合は、希望する仕上水分値よりも 0.5~1.0% 高い水分値に合わせてください。

(6) 設定が完了すると「運転停止中」と表示されます。

- 設定内容を変更する場合、[▲スイッチ]または[▽スイッチ]を押すと(2)のような画面になります。
再度(3)からの設定を行ってください。



3. [乾燥速度スイッチ] を希望する乾燥に設定する

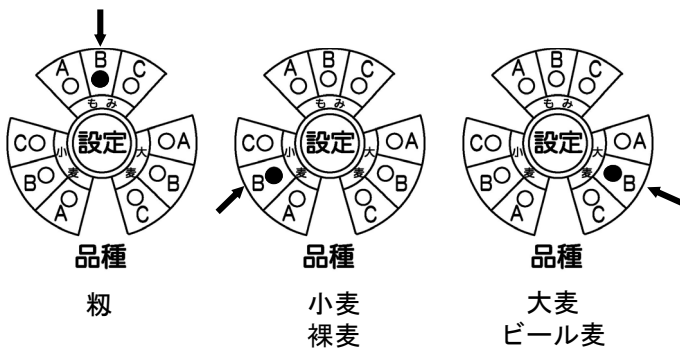
[乾燥速度スイッチ] を押すと、「乾燥速度」が変わります。

夜間休止運転時は、2 段乾燥運転ができません。

(「乾燥速度」については、27・28ページを参照してください)

(送風運転時は、設定する必要がありません)

4. [品種スイッチ] を下記のように設定する



粉	：	[もみB]
小麦・裸麦	：	[小麦B]
大麦・ビール麦	：	[大麦B]

5. [張込量スイッチ] を張り込んだ穀物表示窓の番号に合わせる

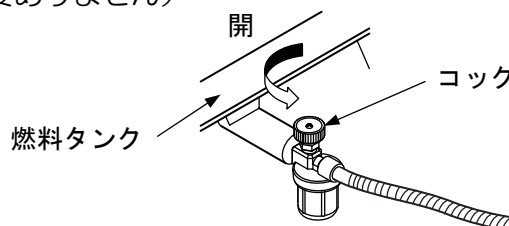


注意

● 粉 300 kg、小麦 360 kg より少ない量での乾燥はできません。

6. 燃料タンクのコックを開ける

(送風運転時は必要ありません)



7. [乾燥スイッチ] または「送風スイッチ」を押し運転を開始する



乾燥



送風

8. 運転開始後、設定時間になると休止し、運転を再開して穀物が仕上水分になると自動停止する

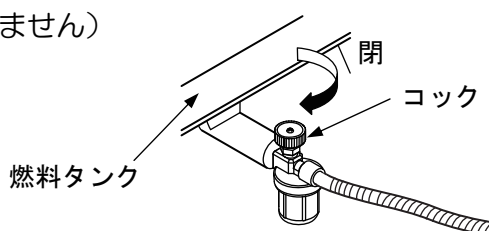
- 運転中に設定を変更する場合、運転中に [▲スイッチ] または [▽スイッチ] を押します。41ページ 2. (2) のような画面となったら、2. (3)～(5) の設定操作を行ってください。「乾燥運転中」「送風運転中」または「運転休止中」の表示に戻れば設定完了です。
- 運転途中で停止する場合は、[停止スイッチ] を押してください。乾燥運転を停止した場合は、バーナが消火し、5分後に機械が自動停止します。
- [張込量スイッチ] の設定によりバーナが間断燃焼する場合があります。詳細は、13ページ「バーナ間断燃焼乾燥」を参照してください。

警告

- 休止中は、モニタ表示部に「運転休止中」と表示し、[停止スイッチ] ランプが点滅します。また、すべてのモータが停止します。
- 休止中はモータが停止していますが、点検・整備などを行わないでください。休止後、運転が自動で始まり、駆動部に巻き込まれるなど、危険ですので注意してください。
- 運転中は、無人運転をしないでください。やむを得ず乾燥機のそばを離れるときは、2～3時間に一度、正常に動作していることを確認してください。
- 故障に気付かないで、そのまま運転し続けると、火災などの重大な事故を起こすおそれがあります。

9. 燃料タンクのコックを閉める

(送風運転時は必要ありません)



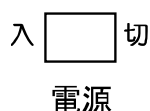
緊急停止



- 運転中に [停止スイッチ] を押しても、すぐに機械は停止しませんので注意してください。

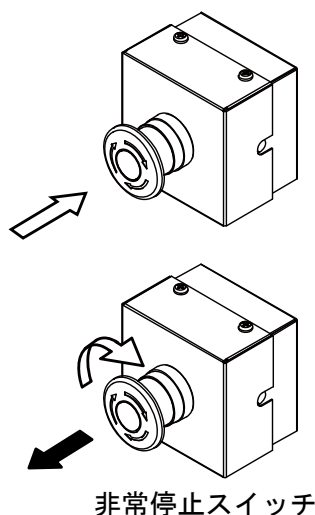
運転中に緊急で運転を停止する方法には、次の2つの方法があります。
すぐにできる方の操作を行ってください。

コントロールボックスの [電源スイッチ] を [切] にする



- 1) コントロールボックスの [電源スイッチ] を [切] にします。
 - 乾燥機の電源供給が遮断され、すべての運転が停止します。
- 2) すべての異常を取り除き、安全を確認します。
- 3) [電源スイッチ] を [入] にします。
 - 電源供給が復帰します。

[非常停止スイッチ] を押す (9VZG はオプションです)



- 1) [非常停止スイッチ] を、カチッと音がするまで押し込みます。
 - 乾燥機の電源供給が遮断され、すべての運転が停止します。
- 2) すべての異常を取り除き、安全を確認します。
- 3) [非常停止スイッチ] を右に回転させます。
 - スイッチが元に戻り、電源供給が復帰します。



- 乾燥運転から緊急停止した後、再点火する場合は、5分以上送風運転をしてから点火してください。高温状態のバーナに点火すると異常燃焼により爆発音がすることがあります。

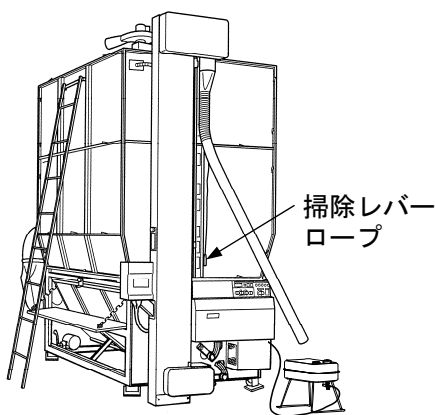
残留穀物の取出しと掃除

警告

- 作業を行う前に、[電源スイッチ]を[切]にし、電源コネクタを抜いてください。
- 機械が十分に冷えていることを確認してください。
- 作業時には、手袋・長袖・長ズボンなど作業に適した服装および靴を着用してください。
- 作業終了時は、すべてのカバーを元の位置に取り付けてください。

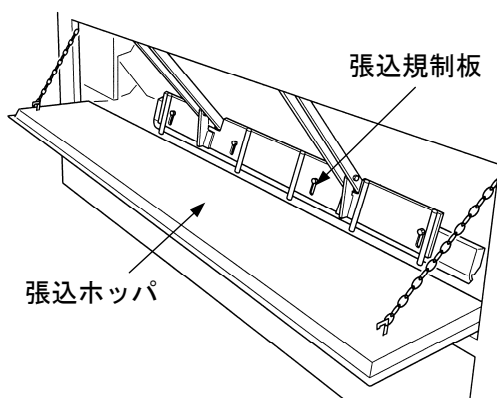
稼働期後は、次の手順で機体に残留している穀物を取り出してください。
機械の中が空であることを確認して行ってください。

1. 上部スクリュを掃除する



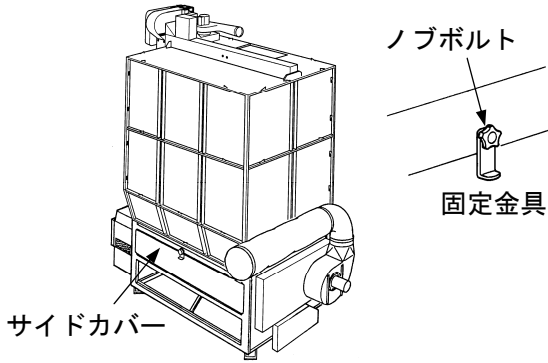
- 1) 掃除レバーロープを引き、上部スクリュの残留穀物を機内に落とします。

2. 排風胴内を掃除する



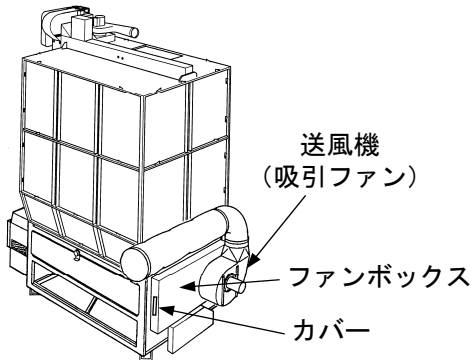
- 1) 張込ホッパを開けます。
- 2) 排風胴内のゴミ、ホコリをホウキなどで取り除きます。
- 3) ホッパ内の張込規制板にからまっているワラゴミを取り除きます。
- 4) 張込ホッパを閉めます。

3. サイドカバー部から排風胴内を掃除する



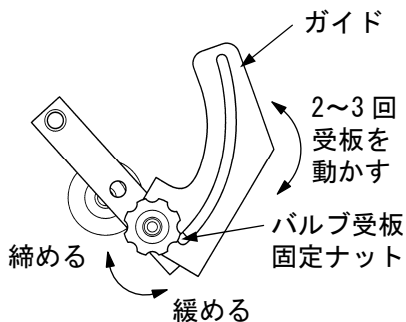
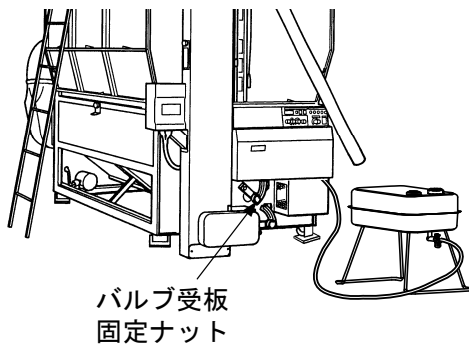
- 1) サイドカバーを開けます。
 - 固定金具のノブボルトを緩め、固定金具を回して開けます。
- 2) ホッパ内のゴミ、ホコリをホウキなどで取り除きます。
- 3) サイドカバーを閉めます。

4. ファンボックスを掃除する



- 1) ファンボックスのカバーを取り外します。
- 2) ファンボックス内のゴミ、ホコリを取り除きます。
- 3) カバーを取り付けます。

5. ロータリバルブを掃除する



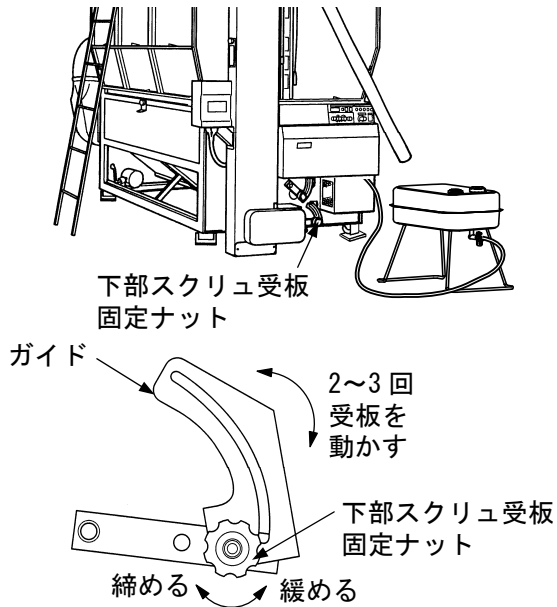
- 1) バルブ受板固定ナットを緩めます。
- 2) ガイドに沿ってバルブ受板固定ナットを上を持ち上げます。2~3回上下に動かし、バルブ受板の残留穀物を下部スクリュに落とします。

警告

● [電源スイッチ] を [入] にする前にすべての点検カバーを取り付け、張込ホッパおよびサイドカバーを閉めてください。

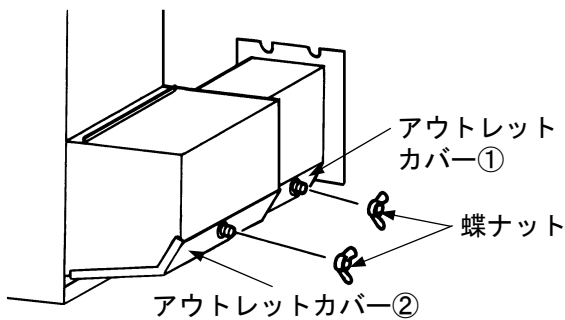
- 3) 電源コネクタを差し込み、[電源スイッチ] を [入] にします。
- 4) 排出運転を行い残留穀物を排出します。
(37ページ「排出運転」参照)
- 5) 排出したら、[電源スイッチ] を [切] にし、電源コネクタを抜きます。
- 6) バルブ受板固定ナットを元の状態に戻します。

6. 下部スクリュを掃除する



- 1) 下部スクリュ受板固定ナットを緩めます。
- 2) ガイドに沿って下部スクリュ受板固定ナットを上を持ち上げます。2~3回上下に動かして下部スクリュ受板の残留穀物を機外に落とします。
- 3) バルブ受板と下部スクリュ受板を必ず元の位置に戻し、しっかり固定します。

7. アウトレットを掃除する

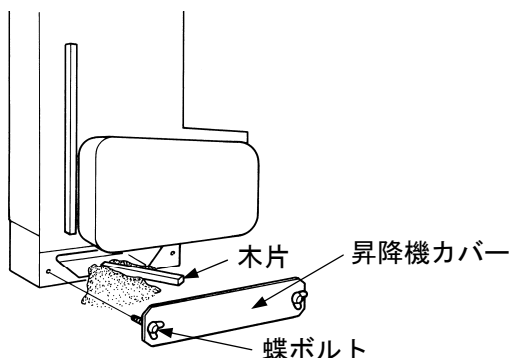


- 1) アウトレットカバー①、②の蝶ナットを外します。
- 2) アウトレット内部の残留穀物を取り除きます。
- 3) アウトレットカバー①、②を取り付けます。
 - アウトレットカバー①、②を取り付けるとき、アウトレットに密着させ、すきまのないように取り付けてください。穀物漏れの原因となります。

警告

- 昇降機点検口には、手、足を入れないでください。バケット内の穀物の重量によってバケットベルトが回ることがあります。

8. 昇降機下部を掃除する

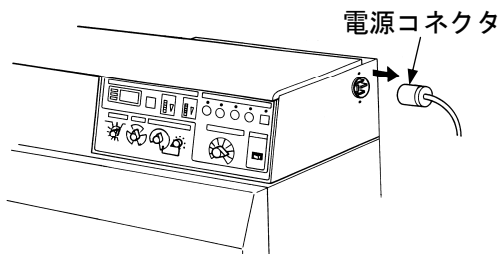


- 1) 昇降機カバーを取り外します。
 - 蝶ボルトを外します。
- 2) 昇降機下部の残留穀物を木片等で取り除きます。
- 3) 昇降機カバーを取り付けます。

9. バーナ部分を掃除する

警告

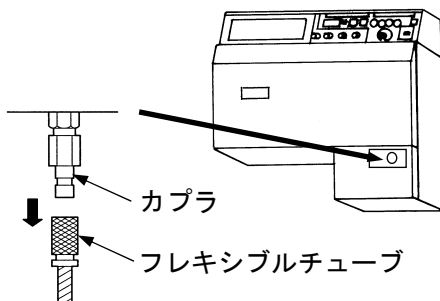
- 熱風胴、バーナボックス内およびバーナ周辺には、燃えやすいゴミなどが溜まらないように、ブラシを使うなどして、よく掃除をしてください。ゴミが溜まった状態で乾燥した場合、火災や異常燃焼の原因となるおそれがあります。
- バーナ部分の掃除は、機械の運転終了後バーナ部分の温度が常温に下がってから行ってください。



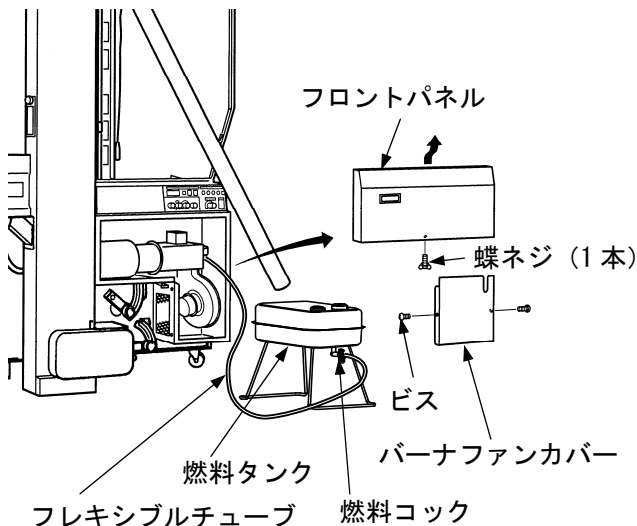
1) [電源スイッチ] を [切] にします。

2) 電源コネクタを抜きます。

3) 燃料タンクのcockを閉めます。



4) フレキシブルチューブをカプラから外します。



5) フロントパネルを外します。

- 蝶ネジを外し、上に持ち上げます。

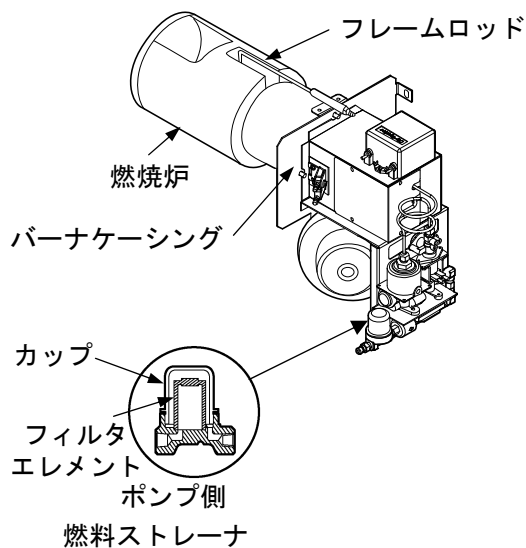
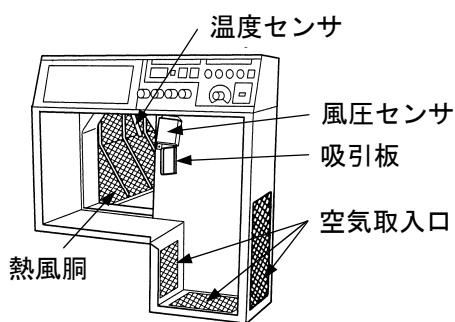
6) バーナファンカバーを外します。

- ビスを外し、引き出します。

7) バーナの各コネクタを中継コードから外します。

⚠ 注意

- バーナは重量物です。取り出すとき、組み付けるときに腰を痛めたり、足の上に落とさないように注意してください。
- バーナボックス内および熱風胴内を掃除するときは、風圧センサや温度センサを曲げたり、傷つけたりしないでください。



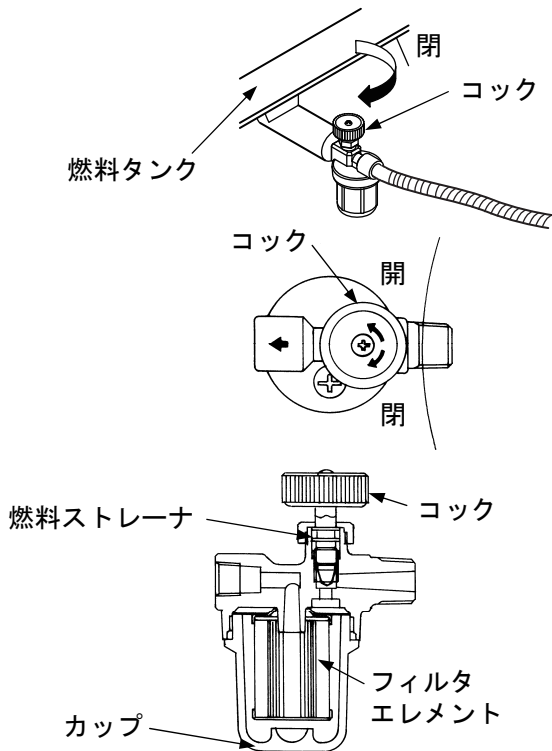
- 8) バーナを外します。
- 9) バーナボックス内の空気取入口を掃除し、ゴミ・ホコリを取り除きます。
- 10) 熱風胴内のゴミ・ホコリをホウキなどで取り除きます。
- 11) バーナの燃烧炉にススが付着していれば取り除きます。
- 12) 燃料タンクの燃料コックを閉め、フレキシブルチューブをカプラから外します。
- 13) ポンプ側燃料ストレーナのねじ込み式カップを外し、フィルタエレメントをきれいな灯油で洗います。
- 14) 掃除が終わったら逆の順序で組み付けます。

⚠ 注意

- 燃烧炉はバーナケーシングから取り外さないでください。
- 燃烧炉は掃除をする場合、フレイムロッドを曲げないように注意してください。

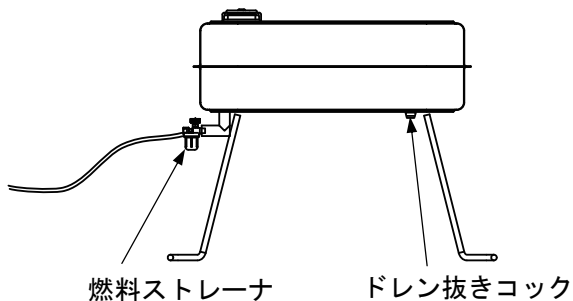
10. 燃料ストレーナを掃除する

燃料ストレーナは燃料タンク側にあります。



- 1) コックを [閉] にします。
- 2) ねじ込み式のカップを外します。
- 3) フィルタエレメントを取り出し、きれいな灯油で洗います。
- 4) 掃除が終わったら、逆の手順で組み付けます。

11. 燃料タンクを掃除する



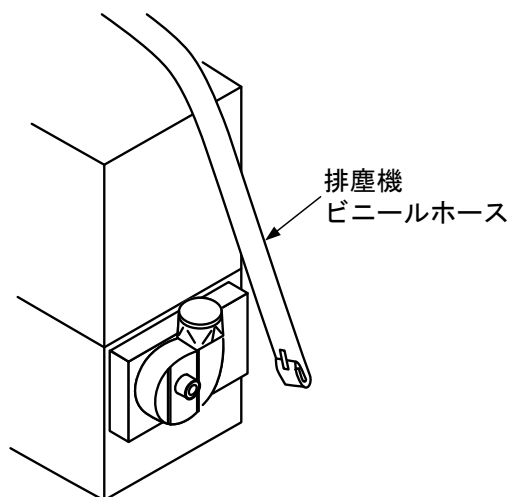
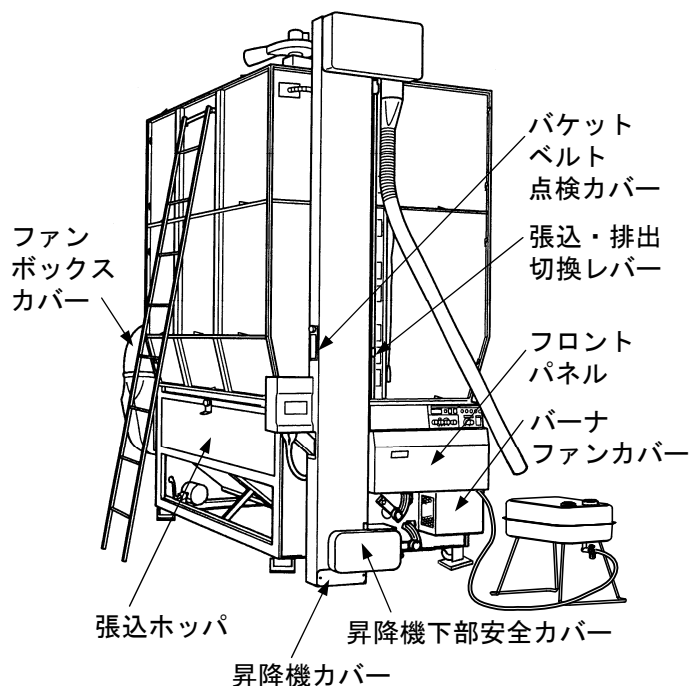
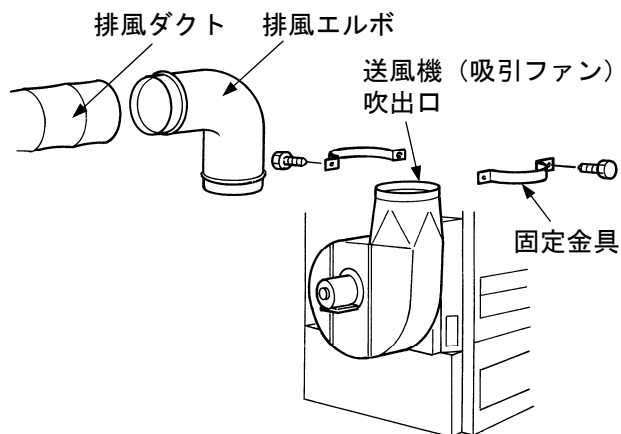
- 1) 残った灯油を入れる容器を用意します。
- 2) ドレン抜きのコックを外し、残りの灯油を抜き取ります。
- 3) 灯油を抜き取った後、コックを組み付けます。
- 4) 灯油の廃棄については廃油処理が可能な指定業者での処分が必要となります。
処分については灯油をご購入されたガソリンスタンドや販売店などにご相談ください。

⚠ 警告

- 残りの灯油は適切に処分してください。
- 来年は持ち越した灯油を使用しないでください。使用した場合、機械の性能を損なう場合があります。
- 燃料ストレーナの掃除、燃料タンクの掃除の際にこぼれた灯油は必ず拭き取ってください。
- 取付後、油漏れがないか確認してください。

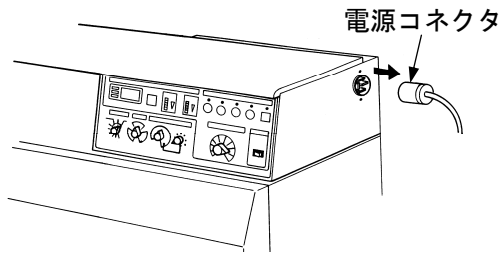
ネズミの侵入防止

ネズミが機械内に侵入すると機械内のコード類をかじり、コードの断線、ショート、漏電の原因になります。稼働期が終了したら下記の方法でネズミの侵入防止を行ってください。



- 1) 残留穀物を取り出します。
（45ページ「残留穀物の取出しと掃除」参照）
- 2) 送風機（吸引ファン）吹出口にネズミが侵入しないように蓋をします。
 - 排風ダクト、排風エルボを取り外します。
 - 送風機（吸引ファン）吹出口を鉄板などでふさぎます。
- 3) 張込ホッパを確実に閉めます。
- 4) [張込・排出切換レバー] を [張込] 側にします。
- 5) フロントパネルをバーナボックスに確実に取り付けます。
- 6) 各部のカバーを確実に取り付けます。
 - (a) フロントパネルおよびバーナファンカバーをバーナボックスに確実に取り付けます。
 - (b) 掃除用シャッタを確実に元に戻します。
 - (c) 点検用窓、蓋、カバーを確実に閉めます。
- 7) 排塵機のビニールホースの先端を折り返し、テープなどで止めます。（15～27SZのみ）

機械の保管



- 1) コントロールボックス、バーナ、水分計、各モータに湿気や雨水が入らないように保管してください。
- 2) 電源コネクタを抜いてください。

⚠ 注意

- 電源コネクタを差し込んだままにしておくと雷により制御部が損傷することがあります。

ハシゴの保管

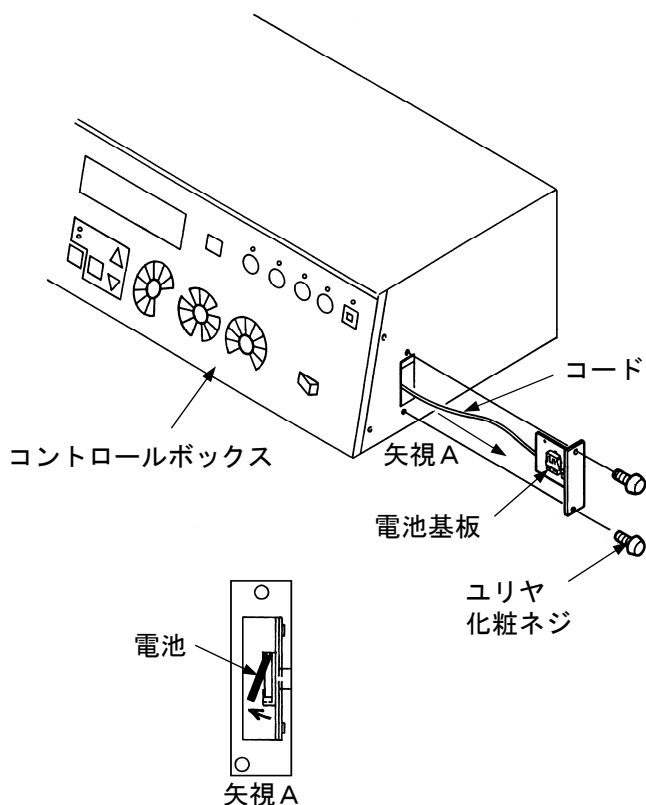
- 1) ハシゴはサービスマン用です。
- 2) ハシゴは、お子様などが遊ばないように、乾燥機から取り外して保管してください。

⚠ 警告

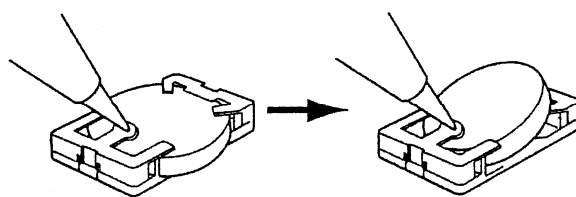
- 転落防止のため、お客様は絶対に使用しないでください。
- 点検修理作業が必要な場合は、購入先に連絡してください。

電池の交換方法

コントロールボックス内の電池が切れると時刻設定ができなくなります。
電池が切れた場合は、下記の方法で交換してください。



- 1) コントロールボックスの右横にあるユリヤ化粧ネジを外します。(2本)
- 2) 電池基板をコードに注意しながら引き出します。
- 3) 電池の両側を持ち、矢視 A のように電池の下部を引き上げます。
- 4) 新しい電池 (CR2032) と交換します。



※電池ホルダー中央のタブを指またはペン先などで軽く押すことにより、電池は簡単に取り外せます。

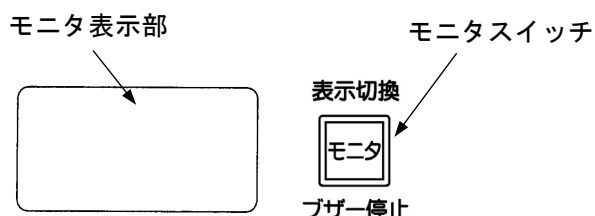
時刻設定の方法



- 1) [時刻設定スイッチ] を押します。
- 2) [▲ ▼ スイッチ] を押し、時刻を合わせます。
(スイッチを長押しすると 10 分単位で変わります)
- 3) 再び [時刻設定スイッチ] を押して決定します。

アラーム表示される異常・故障

異常・故障の場合にはモニタ表示部にアラームNo.（警告表示）されます。



- 1) [モニタスイッチ] を押します。
ブザーが停止します。
- 2) アラームNo.を確認して記録します。
- 3) 発生したアラームの種類および運転状態に応じて機械が自動停止または自動運転します。（「表 7 自動停止機能一覧表」参照）
- 4) 55ページ「表 8 アラームNo.一覧表」を参照の上処置をします。

表 7 自動停止機能一覧表

停止機能	内 容
全停止	アラームの発生と同時に各モータが停止する。
2段停止	アラーム発生後、5分間は各モータの運転を行い停止する。 ただしロータリバルブモータはアラーム発生後3分間運転した後停止する。
送風停止	アラーム発生後、送風機（吸引ファン）モータとバーナファンモータのみ5分間運転を行い停止する。
送風運転	アラーム発生後、バーナが消火し、継続して送風運転を行う。

困ったとき

表 8 アラームNo.一覧表

アラームNo.	原因	停止機能	処置方法
001	穀物が満量になった	なし	74ページ 26. 参照
002、004	灯油切れ（点火ミス） バーナ点火時のエア混入	002は送風運転 004は全停止	68ページ 14. 参照
E18	インバータの過負荷	全停止	68ページ 15. 参照
E20、E21	熱風温度センサの異常	全停止	お買い上げの販売店・JA に連絡してください
E24、E25、E85	風圧センサの異常	E24、E25全停止 E85は2段停止	59ページ 3. 参照
E27、E28	外気温度センサの異常	全停止	お買い上げの販売店・JA に連絡してください
E29	外気温度、熱風温度センサの異常	なし	69ページ 17. 参照
E51	自動水分計の異常（測定できない）	送風運転	61ページ 4. 参照
E52	自動水分計の異常（異常水分測定）	送風運転	61ページ 5. 参照
E54	自動水分計の異常（モータの過負荷）	送風運転	62ページ 6. 参照
E61	CPU基板上のヒューズ（2A）切れ	全停止	お買い上げの販売店・JA に連絡してください
E63、E64	排出自動切換バルブの異常 （オプション装着時）	全停止	お買い上げの販売店・JA に連絡してください
E66	感震装置が作動した	全停止	74ページ 28. 参照
E70	本機モータの過負荷 コントロールボックスの異常	送風停止	62ページ 7. 参照
E72	送風機（吸引ファン）モータの過負荷 コントロールボックスの異常	全停止	64ページ 8. 参照
E74、E76	各モータのコネクタの異常 コントロールボックスの異常	E74は送風停止 E76は全停止	64ページ 9. 参照
E81、E83	熱風温度が低すぎる	E81は2段停止 E83は送風運転	65ページ 10. 参照
E82、E86	熱風温度が高すぎる	2段停止	65ページ 11. 参照
E93	フレームロッドの異常	送風運転	66ページ 12. 参照
E96	バーナファンの回転異常	送風運転	67ページ 13. 参照
E98	バーナ燃焼時の消火	送風運転	69ページ 16. 参照
E99、E100	コントロールボックスの異常	全停止	お買い上げの販売店・JA に連絡してください

アラーム表示されない異常・故障

表 9 異常・故障一覧表

症 状	原 因	処置方法
モニタ表示部に表示しない	<ul style="list-style-type: none"> • [非常停止スイッチ] の作動 • 元電源の異常 • コントロールボックスの異常 	58ページ 1. 参照
元電源のブレーカが落ちる	<ul style="list-style-type: none"> • 元電源の異常 • ブレーカの容量不足または電圧降下 • 漏電ブレーカの誤作動 • 送風機（吸引ファン）とスロワの同時運転 	59ページ 2. 参照
送風機（吸引ファン）の振動が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> • 送風機（吸引ファン）にゴミが付着している 	64ページ 8. 参照
モニタ表示部の水分表示が手持ちの抵抗式水分計の表示と合わない	<ul style="list-style-type: none"> • 原料穀物の水分のバラツキが大きい • 抵抗式水分計の異常 • [品種スイッチ] の設定間違い 	70ページ 18. 参照
過乾燥になった	<ul style="list-style-type: none"> • 原料穀物の水分のバラツキが大きい • 未熟粒の混入率が大きい 	71ページ 19. 参照
胴割れが発生する	<ul style="list-style-type: none"> • 原料粉の異常 • [張込量スイッチ] の設定間違い 	71ページ 20. 参照
乾燥に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • 送風機（吸引ファン）の異常 • 張込ホッパ、天井カバーの異常 • [張込量スイッチ]、[品種スイッチ]、[乾燥速度スイッチ] の設定間違い 	72ページ 21. 参照
機械の停止中にロータリバルブから穀物の漏れる音がする	<ul style="list-style-type: none"> • ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる 	72ページ 22. 参照
タンク内に均分ムラができる	<ul style="list-style-type: none"> • 異常ではありません • 満量近く張り込むと飛散は山形となります 	
[乾燥スイッチ] を押すと「乾燥部の温度が高いため送風していません」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> • 熱風胴内温度が設定値より高い 	73ページ 23. 参照
送風機（吸引ファン）から整粒が飛び出る	<ul style="list-style-type: none"> • ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる • 排風胴内にゴミが溜まっている 	73ページ 24. 参照

困ったとき

症 状	原 因	処置方法
排出時、機械内に穀物が残っているのに自動停止する	<ul style="list-style-type: none"> ●自動水分計の異常 (穀物サンプルが供給されない) 	61ページ 4. 参照
バーナが点火と消火を繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> ●異常ではありません ●[張込量スイッチ] を [少] [1] [2] に設定すると、燃焼・燃焼休止の間断乾燥を繰り返します (15~27SZGでは [2] の場合、連続燃焼となります) ●また、[3] 以上の設定でもバーナが点火と消火を繰り返している場合は、コントロールボックス内制御装置が適切な燃焼状態となるよう制御している状況です 	
バーナ部付近から灯油が漏れている	<ul style="list-style-type: none"> ●フレキシブルチューブをバーナ側カプラに確実に接続していない ●バーナ燃料系部品の接続部が緩んでいる ●比例弁ユニットの不良 	73ページ 25. 参照
排出時にスロワが詰まる	<ul style="list-style-type: none"> ●ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる ●モータブーリの間違い ●Vベルトが緩い 	74ページ 27. 参照
モータが焼損する	<ul style="list-style-type: none"> ●型式設定ミス ●スロワ設定ミス (スロワモータが焼損する場合) ●電源設定ミス (単相仕様の設定になっている) 	お買い上げの販売店・JAに連絡してください
排塵機 (トップクリーナ) から整粒が飛び出す	<ul style="list-style-type: none"> ●排塵機 (トップクリーナ) の調整不良 	お買い上げの販売店・JAに連絡してください
排塵機 (トップクリーナ) からワラゴミが取れない	<ul style="list-style-type: none"> ●排塵機 (トップクリーナ) の調整不良 	お買い上げの販売店・JAに連絡してください
満量センサが作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●満量センサの位置が不適當 	お買い上げの販売店・JAに連絡してください
ラジオ等にノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> ●コントロールボックス内にインバータが搭載されています ●このインバータから発生するラジオノイズなどにより、他の機器にノイズ・誤作動を招く場合は下記のノイズフィルタをご使用ください ●電源が三相の場合： 部品コード 9109719200 ノイズフィルター式 ●電源が単相の場合： 部品コード 9109719210 ノイズフィルター式 	お買い上げの販売店・JAに連絡してください

異常・故障の場合の処置方法



- 異常・故障の処置を行う前に、コントロールボックスの「電源スイッチ」を「切」にし、電源コネクタを抜いてください。
- この取扱説明書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合は、お買い上げの販売店またはJAに連絡してください。
- すべての安全カバーは、運転時には必ず取り付けてください。

1. モニタ表示部に表示をしない

原因	対処方法
1) [非常停止スイッチ]が作動している (GDR11~27SZG)	(a) 復帰させる (44ページ「緊急停止」参照)
2) 元電源のヒューズの溶断	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) 元電源からコントロールボックスまでの配線不良	
4) コネクタ内部の結線不良 または延長コードの断線	
5) CPU 基板上のヒューズ (2A) の溶断	
6) CPU 基板の不良	
7) 処理基板の不良	
8) インバータ基板の不良	

困ったとき

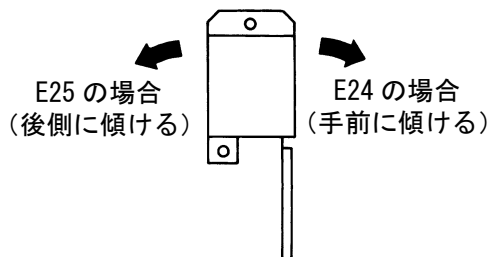
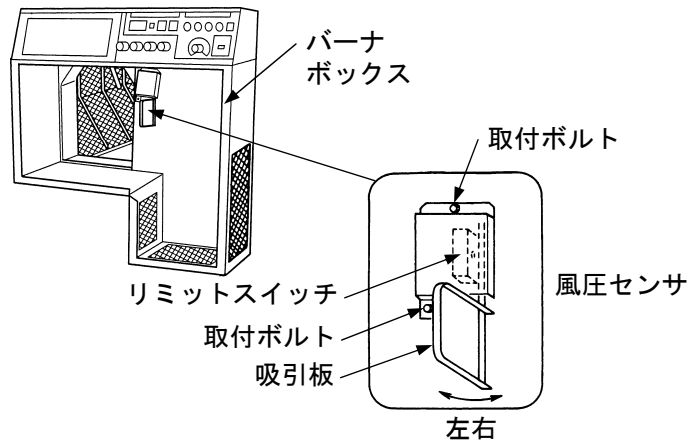
2. 元電源のブレーカが落ちる

原因	対処方法
1) ブレーカの容量不足または電圧降下	(a) 電気工事会社へ相談する
2) 漏電ブレーカの誤作動	(a) 電気工事会社へ相談してインバータ対応の漏電ブレーカに交換する ● 感度電流200mA以上、動作時間0.1秒以上のもの、または高周波対策を行ったものに交換する (高周波対策品の例) 三菱電機製：NVシリーズ（1988年以降製造分） 富士電機製：EG、SGシリーズ（1984年以降製造分）
3) 元電源からコントロールボックスまでの配線不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
4) 送風機（吸引ファン）とスロワを同時に運転している	
5) モータからの漏電	
6) 自動水分計モータのショート	

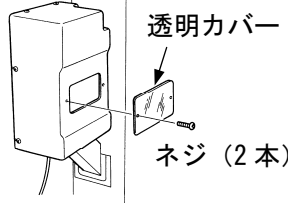
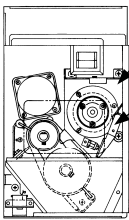
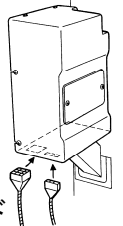
3. アラームNo.E24、E25、E85 を表示する

原因	対処方法
1) 穀物を張り込まずに[乾燥スイッチ]を入れた	(a) 穀物を張り込む
2) 張込ホッパを閉めずに[乾燥スイッチ]を入れた	(a) 張込ホッパを閉める (b) [乾燥スイッチ]を押す
3) 排風ダクトの吹出口に風が吹き込んでいる	(a) 排風ダクトの吐出口から1m以上離して囲いを立てる
4) 排風ダクトをまっすぐに張っていない	(a) 排風ダクトをまっすぐに張る (下図は乾燥機を上から見た図)


原因	対処方法
5) 風圧センサコネクタの差込不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
6) 風圧センサの吸引板不良	(a) フロントパネルを取り外す (b) バーナボックス内の風圧センサを取り外す (取付ボルトを取り外す) (c) 風圧センサのリミットスイッチ部にゴミが詰まっていたら取り除く (d) 吸引板が手で軽く動くことを確認する ● 吸引板を曲げないように注意してください (e) 風圧センサを取り付ける (取付ボルトを取り付ける) (f) フロントパネルを組み付ける
7) 風圧センサ取付位置不良	(a) フロントパネルを取り外す (b) 風圧センサの取付ボルトを緩める (c) E24が点滅する場合は、風圧センサを手前に傾ける (d) E25が点滅する場合は、風圧センサを後側に傾ける (e) 風圧センサの取付ボルトを締める (f) フロントパネルを取り付ける
8) 風圧センサの不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する



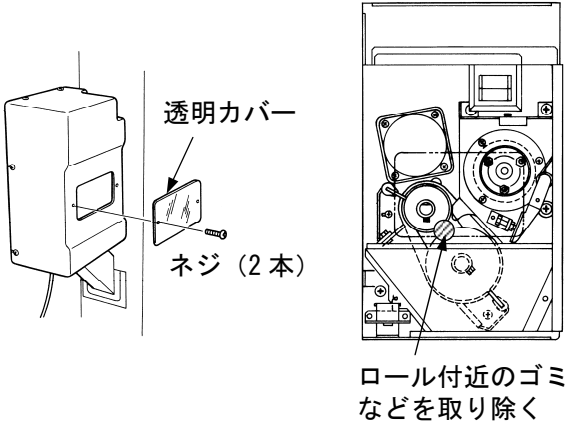
4. アラームNo.E51 を表示する または排出時、機械内に穀物が残っているのに自動停止する

原因	対処方法
1) 自動水分計の透明カバーを開けて乾燥運転をしている	(a) 透明カバーを確実に取り付ける 
2) 自動水分計のフィーダ部にゴミが詰まっている	(a) 透明カバーを取り外す (b) フィーダ部を掃除する (c) レバーが手で軽く動くようにゴミなどを取り除く (d) 透明カバーを確実に取り付ける 
3) 自動水分計のコネクタの差込不良	(a) 水分計接続コードを自動水分計に確実に差し込む 
4) 自動水分計モータのギヤセット不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する

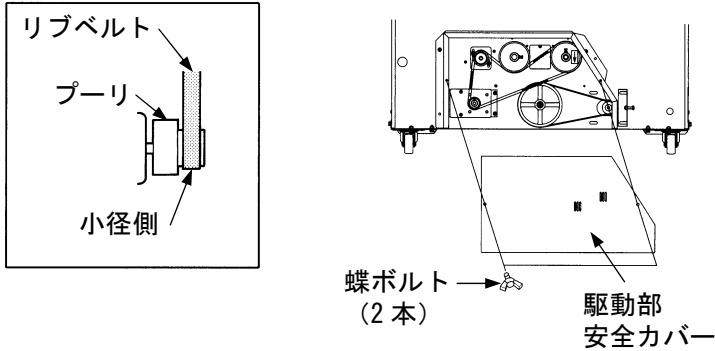
5. アラームNo.E52 を表示する

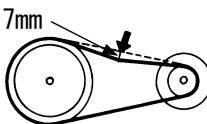
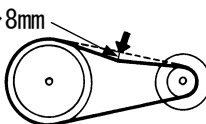
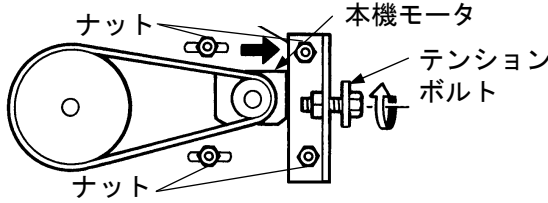
原因	対処方法
1) [品種スイッチ]が品種に合っていない	(a) [品種スイッチ] を乾燥させる穀物に設定する 
2) 自動水分計の不良	(a) タイマ運転にて乾燥運転を行う (39ページ「タイマ運転」参照) (b) お買い上げの販売店またはJAに連絡する

6. アラームNo.E54 を表示する

原因	対処方法
1) 自動水分計のロール付近へゴミなどがかみ込んでモータ過負荷になっている	(a) 透明カバーを取り外す (b) ロール付近のゴミなどを取り除く (c) 透明カバーを確実に取り付ける  ロール付近のゴミなどを取り除く
2) 自動水分計の[テストスイッチ]が[ON]になっている	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) 電流設定値が低い	
4) モータ負荷信号の不良	

7. アラームNo.E70 を表示する

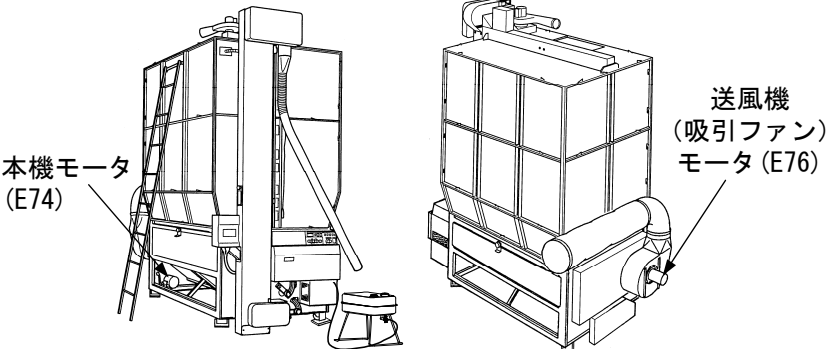
原因	対処方法
1) 本機モータプーリのベルトの掛け間違い	(a) 下部スクリュの残留穀物を除去する (47ページ「6. 下部スクリュを掃除する」参照) (b) 乾燥機後側下部の駆動部安全カバーを取り外す (蝶ボルトを外す) (c) 本機モータプーリのベルトの位置を確認する (d) 間違っていれば、下図のようにプーリを取り付けてベルトを掛け直す  (e) 駆動部安全カバーを取り付ける 「次ページにつづく」

原因	対処方法
2) Vベルトの緩み	<p>(a) 機械後面の駆動部安全カバーを取り外す</p> <p>(b) 本機モータ固定用ナット（4個）を緩め、テンションボルトを締めてリブベルトを適正に張るようになる 張りの目安はベルトの中心を指で強く押したとき、たわみが下図のようになれば適正です</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>13~17mm (11~14SZG、9VZG の場合)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4~8mm (15~27SZG の場合)</p> </div> </div> <p>● ベルトを強く張りすぎないように注意してください (モータ、軸受の故障の原因となります)</p> <p>(c) モータベースのナットを固定する</p> <div style="text-align: center;">  <p>ナット 本機モータ テンションボルト ナット</p> </div>
3) 穀物の張り込みすぎ	(a) [張込停止] 表示位置になるまで穀物を取り出す (75ページ「張り込みすぎの場合の穀物取出方法」参照)
4) 昇降機バケットベルトの緩み	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
5) ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる	(a) ロータリバルブ受板を固定している固定ナットを締め付ける (46ページ「5. ロータリバルブを掃除する」参照)
6) 昇降機バケットベルトの片寄り	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
7) 本機モータコネクタの差込不良	(a) 本機モータ側のコネクタを確実に差し込む ● コネクタのピン抜けがないか確認する
8) 本機モータ（下部スクリュ）の電流設定値が低い	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
9) 本機モータの焼損	

8. アラームNo.E72 を表示する または送風機（吸引ファン）の振動が大きくなった

原因	対処方法
1) 送風機（吸引ファン）にゴミが付着している	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">注意</p> <p>● 送風機（吸引ファン）は重いので 2 人以上で作業してください。</p> </div> <p>(a) 本体からファンボックス、送風機（吸引ファン）を取り外す (b) ファンボックスから送風機（吸引ファン）を取り外す (c) 送風機（吸引ファン）の吸込側のゴミを取り除く (d) ファンボックスと送風機（吸引ファン）を組み付け、本体に取り付ける</p>
2) 送風機（吸引ファン）モータコネクタの差込不良	(a) 送風機（吸引ファン）モータ側のコネクタを確実に差し込む ● コネクタのピン抜けがないか確認する
3) 送風機（吸引ファン）モータの電流設定値が低い	(a) お買い上げの販売店または J A に連絡する
4) 送風機（吸引ファン）モータの焼損	

9. アラームNo.E74、E76 を表示する

原因	対処方法
1) 各モータのコネクタ接続不良、コードの断線	<p>(a) 各モータ側のコネクタを確実に差し込む ● コネクタのピン抜けがないか確認する</p> <p>(b) コントロールボックスから各モータへの中継コードへの断線がないか確認する</p> <p>(c) お買い上げの販売店または J A に連絡する</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>本機モータ (E74)</p> <p>送風機 (吸引ファン) モータ (E76)</p> </div>

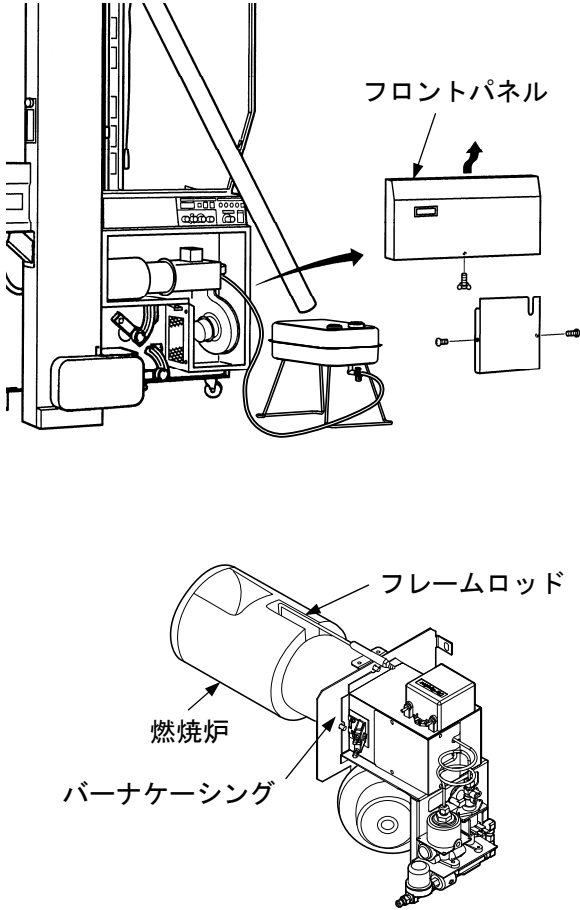
10. アラームNo.E81、E83 を表示する

原因	対処方法
1) フィルタエレメントの目詰まり	(a) フィルタエレメントを掃除する (50ページ「10. 燃料ストレーナを掃除する」参照)
2) 燃焼油量が不足している	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) 外気温度、熱風温度センサの異常	

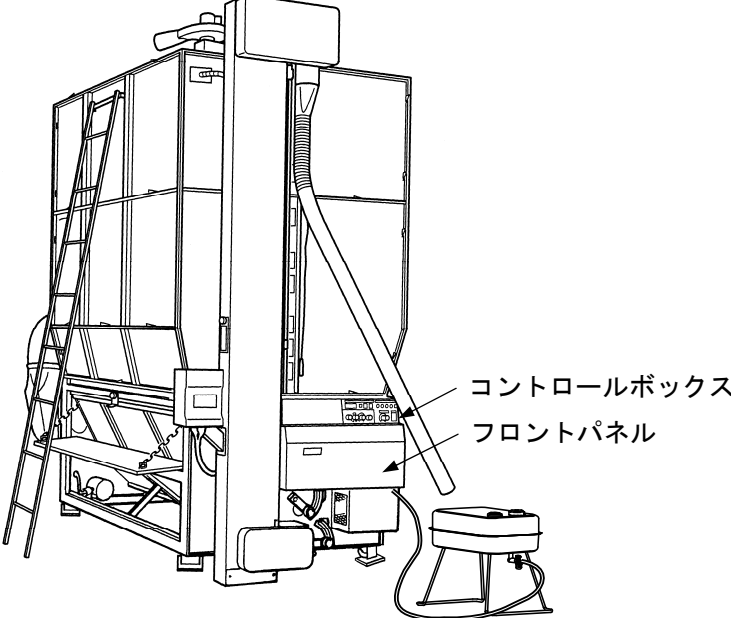
11. アラームNo.E82、E86 を表示する

原因	対処方法
1) 送風機（吸引ファン）の風量不足	(a) 排風ダクトをまっすぐ張る (b) 排風ダクト吐出口の囲いは1m以上離す (c) 回転方向を確認する (18ページ「3. 各モータの回転の確認」参照)
2) 燃焼油量が多い	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) 比例弁ユニットの不良	

12. アラームNo.E93 を表示する

原因	対処方法
1) フレームロッドの汚れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">警告</p> <p>● バーナ部分の点検は、バーナ部分の温度が常温に下がってから行ってください。</p> </div> <p>(a) フロントパネルを開けて、フレームロッド取付板を外す (バインドネジ2本)</p> <p>(b) フレームロッドに付着しているホコリ、タールを布で拭き取る</p> <p>(c) フレームロッドを取付板で固定する</p> <p>(d) フロントパネルを取り付ける</p>  <p>The diagram consists of two parts. The upper part shows a side view of the burner assembly with the front panel being lifted away. Labels include 'フロントパネル' (Front Panel) and arrows indicating the removal process. The lower part is a detailed view of the burner assembly, showing the 'フレームロッド' (Frame Rod) being cleaned. Labels include 'フレームロッド', '燃焼炉' (Burner), and 'バーナケーシング' (Burner Housing).</p>
2) フレームロッドの不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) フレームロッドの位置不良	

13. アラームNo.96 を表示する

原因	対処方法
1) バーナファンのコネクタの差込不良	(a) フロントパネルを外す (b) バーナファンコネクタをバーナ中継コードコネクタに確実に差し込む ● コネクタのピン抜けがないか確認する 
2) バーナ中継コードの断線	(a) バーナファンとコントロールボックス間の中継コードの断線がないか確認する
3) バーナファンの不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
4) CPU 基板の不良	

14. アラームNo.002、004 を表示する

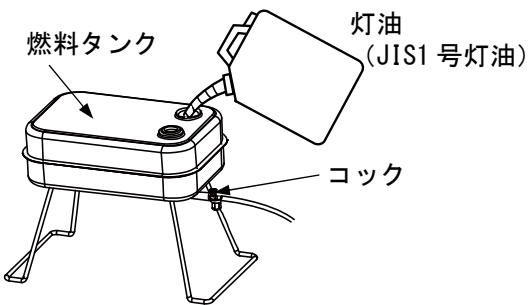
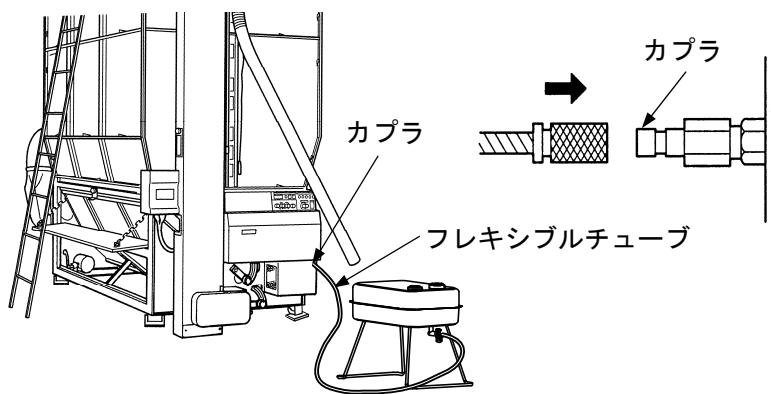
原因	対処方法
1) 燃料タンクに灯油がない	(a) 燃料タンクに灯油 (JIS 1号灯油) を入れる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">⚠ 危険</p> <p>● 燃料は、灯油 (JIS 1 号灯油) を使用してください。ガソリン・軽油は火災の原因となりますので絶対に使用しないでください。</p> </div>
2) 燃料タンクの燃料ストレーナのcockが開いていない	(a) 燃料タンクの燃料ストレーナのcockを開ける 
3) フレキシブルチューブに空気(エア)が入っている	(a) フレキシブルチューブのエア抜きをする (19ページ「5. フレキシブルチューブのエア抜き」参照)
4) フレキシブルチューブをカプラに確実に接続していない	(a) フレキシブルチューブをバーナ側のカプラに確実に接続する (19ページ「5. フレキシブルチューブのエア抜き」参照)
5) バーナ中継コードコネクタの差込不良	(a) バーナ中継コードコネクタをバーナ側に確実に差し込む ● コネクタのピン抜けがないか確認する
6) フィルタエレメントの目詰まり	(a) フィルタエレメントを掃除する (50ページ「10. 燃料ストレーナを掃除する」参照)
7) ノズルの位置不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
8) フレームロッドの変形	
9) 燃烧油量が不足している	
10) 比例弁ユニットの不良	

困ったとき

15. アラームNo.E18 を表示する

原因	対処方法
1) モータの過負荷	(a) 過負荷の原因を取り除く (62ページ 7.、64ページ 8. 参照)
2) インバータの不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) CPU 基板の不良	


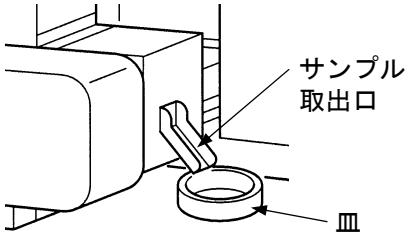
16. アラームNo.E98 を表示する

原因	対処方法
1) 燃料タンクに灯油がない	(a) 燃料タンクに灯油を給油する 
2) フレキシブルチューブをカプラに確実に接続していない	(a) フレキシブルチューブをカプラに確実に接続する 
3) フィルタエレメントの目詰まり	(a) フィルタエレメントを掃除する (50ページ「10. 燃料ストレーナを掃除する」参照)
4) フレームロッドの異常・不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
5) 燃焼油量が不足している	
6) 比例弁ユニットの不良	

17. アラームNo.E29 を表示する

原因	対処方法
1) 外気温度センサと熱風温度センサの温度差が 5℃ 以上ある	(a) 外気温度センサに直接日が当たらないようにし、再度 [電源スイッチ] を [入] にして、乾燥運転をする。それでも直らなければお買い上げの販売店またはJAに連絡する




18. モニタ表示部の水分表示が手持ちの抵抗式水分計の表示と合わない

原因	対処方法
1) 原料穀物の水分のバラツキが大きい	(a) 4~5時間送風運転後、乾燥する (25ページ「送風運転」参照)
2) 乾燥途中で測定した	(a) 水分が17%以下になってから測定する
3) [品種スイッチ]の設定間違い	(a) [品種スイッチ]を正しい設定にする  A B C もみ 設定 COA B O A B O B A O C 品種
4) 手持ちの抵抗式水分計の取り扱い間違い	(a) 水分測定用サンプルは、サンプル取出口から採る (b) サンプルの穀物は、外気温度まで冷ました後測定する (c) サンプルの穀物が粳の場合は、玄米にして測定する (d) サンプルの穀物は、青米、未熟粒を除いて測定する (e) 水分測定値は、3回以上測定して平均する (f) 外気温度補正のある水分計は、その設定にする (g) 毎年新しい電池と交換する (h) 毎年水分計の検定を受ける  サンプル取出口 皿
5) 乾燥終了後数日経過している	(a) 玄米の水分値は、乾燥後に未熟粒混入率によって次のように変わるので注意する ● 未熟粒混入率が5%以下の場合は、0.5~1.0%乾く ● 未熟粒混入率が11%以上の場合は、0.5~1.0%戻る ● 未熟粒混入率が5~11%の場合は、乾く場合もあるし、戻る場合もある
6) 水分計の誤差	(a) 水分補正をする (35ページ「3. 水分表示値を合わせる」参照)

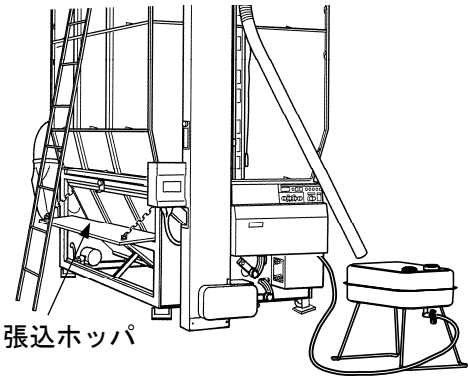



19. 過乾燥になった

原因	対処方法
1) 原料穀物の水分のバラツキが大きい	(a) 4~5時間送風運転後、乾燥する (25ページ「送風運転」参照)
2) 未熟粒の混入率が大きい (未熟粒混入率 11%以上)	(a) 乾燥後、未熟粒の水分が整粒に移り、整粒の水分が戻るので 2~3日放置して様子を見る
3) [品種スイッチ]、[仕上水分スイッチ]の設定間違い	(a) 適正な設定をする

20. 胴割れが発生する

原因	対処方法
1) 刈り取った（張り込んだ） 粳に胴割れ、脱ぶ米がある または胴割れしやすい品 種の粳である	(a) [乾燥速度スイッチ] を [ややゆっくり] に設定して乾燥させる  <p style="text-align: center;">乾燥速度</p>
2) もち米、酒米である	(a) [乾燥速度スイッチ] を [もち] または [酒米] に設定して乾燥させる   <p style="text-align: center;">乾燥速度 乾燥速度</p>
3) 刈り取った（張り込んだ） 粳の水分のバラツキが大 きい	(a) 4~5時間送風運転後、乾燥する (25ページ「送風運転」参照)
4) [張込量スイッチ]の設定 間違い	(a) 張り込んだ量に [張込量スイッチ] を設定して乾燥させる

21. 乾燥に時間がかかる

原因	対処方法
1) 送風機（吸引ファン）の風量不足	(a) 排風ダクトをまっすぐに張る (b) 排風ダクト吐出口から囲いを1m以上離す (17ページ「1. 乾燥機周辺の確認」参照)
2) 張込ホッパが完全に閉まっていない	(a) 張込ホッパを完全に閉める  張込ホッパ
3) [張込量スイッチ]の設定間違い	(a) 張り込んだ量に [張込量スイッチ] を設定して乾燥させる  張込量
4) [乾燥速度スイッチ] が [ふつう] になっていない	(a) [乾燥速度スイッチ] を [ふつう] に設定して乾燥させる  乾燥速度
5) 夏季で気温、湿度が高い	(a) [乾燥速度スイッチ] を [やや速い] に設定して乾燥させる 下記に示すような場合は [やや速い] で乾燥運転をしないでください 胴割れが増加する可能性があります ● 原料中に未熟粒が多い粉 ● 原料中に胴割れのある粉 ● 原料中に脱ぶ・開えい（粉殻が開いている）のある粉 ● 胴割れしやすい品種の粉 ● 空気が乾燥している（乾燥機の周辺湿度が60%以下）場合  乾燥速度

困ったとき

22. 機械の停止中にロータリバルブ部分から穀物の漏れる音がする

原因	対処方法
1) ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる	(a) ロータリバルブ受板を固定しているナットを正規の位置で締める（46ページ「5. ロータリバルブを掃除する」参照）

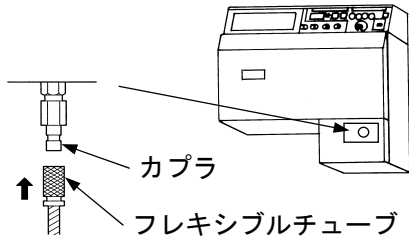
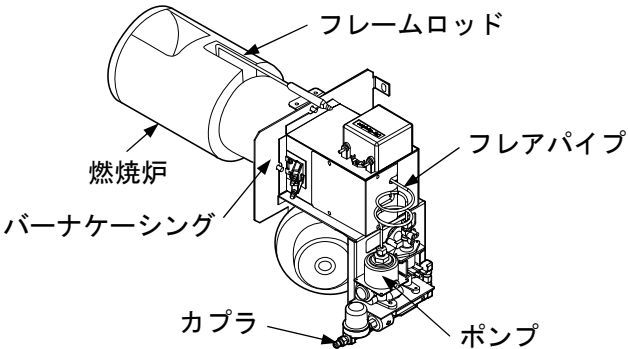
23. 「乾燥スイッチ」を押すと「乾燥部の温度が高いため送風しています」が表示される

原因	対処方法
1) 熱風胴内温度が設定値より高い	(a) 故障ではありません 約5分間の送風運転後、自動的にバーナが点火します

24. 送風機（吸引ファン）から整粒が飛び出る

原因	対処方法
1) ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる	(a) ロータリバルブ受板を固定している固定ナットを正しい位置で締める（46ページ「5. ロータリバルブを掃除する」参照）
2) 排風胴内にゴミが溜まっている	(a) ゴミを除去する（45ページ「2. 排風胴内を掃除する」参照）

25. バーナ部付近から灯油が漏れている

原因	対処方法
1) フレキシブルチューブをバーナ側カプラに確実に接続していない	(a) フレキシブルチューブをカプラに確実に接続する 
2) バーナ燃料系部品の接続部が緩んでいる	(a) バーナ燃料系部品の接続部を確実に締める <ul style="list-style-type: none"> ● カプラとポンプの間 ● ポンプとフレアパイプの間 ● フレアパイプとノズルの間 
3) 比例弁ユニットの不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
4) イグナイタランスの不良	

26. アラームNo.001 を表示する

原因	対処方法
1) 穀物が満量になった	(a) 故障ではありません 直ちに張り込みを停止してください
2) CPU 基板の不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) 満量センサの不良	

27. 排出時にスロワが詰まる

原因	対処方法
1) ロータリバルブ受板の固定ナットが緩んでいる	(a) ロータリバルブ受板を固定しているナットを正しい位置で締める(46ページ「5. ロータリバルブを掃除する」参照)
2) モータブーリの間違い	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する
3) Vベルトが緩い	
4) スロワ羽根とスロワケースのすきまが不適當	
5) スロワ設定ミス	

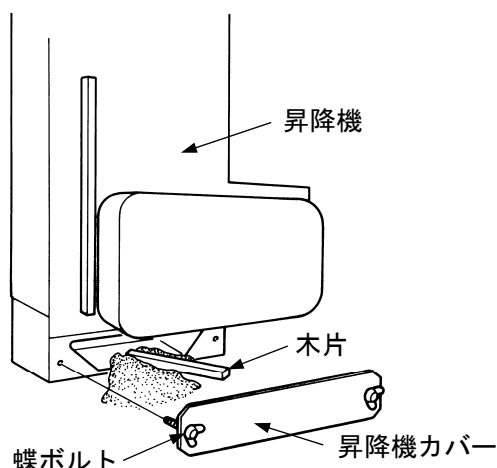
28. アラームNo.E66 を表示する

原因	対処方法
1) 地震等の振動により感震装置が作動した	(a) [電源スイッチ] を [切] にして、振動により機械が損傷していないか確認する (b) 灯油漏れがないか確認する
2) 感震装置の不良	(a) お買い上げの販売店またはJAに連絡する

張り込みすぎの場合の穀物取出方法

警告

- 昇降機内に手・足を入れしないでください。



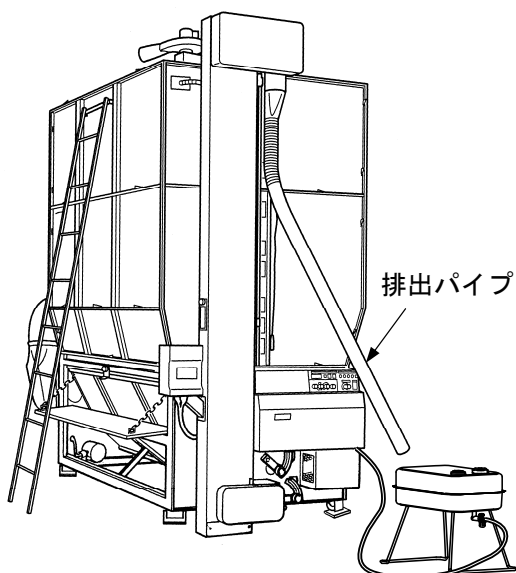
1) 昇降機下部の穀物を取り出します。

(a) 昇降機カバーを取り外します。

- 蝶ボルト（2本）を外します。

(b) 昇降機下部に残留している穀物を木片等で取り除きます。

(c) 昇降機カバーを取り付けます。



2) 排出パイプの先端へ穀物取出袋を取り付けます。

3) 電源コネクタを差して [電源スイッチ] を入れます。

4) 排出運転を行い、穀物を取り出します。

(37ページ「排出運転」参照)

5) [停止スイッチ] を押します。

注意

- 穀物を取り出すことができない場合は、お買い上げの販売店またはJAに連絡してください。

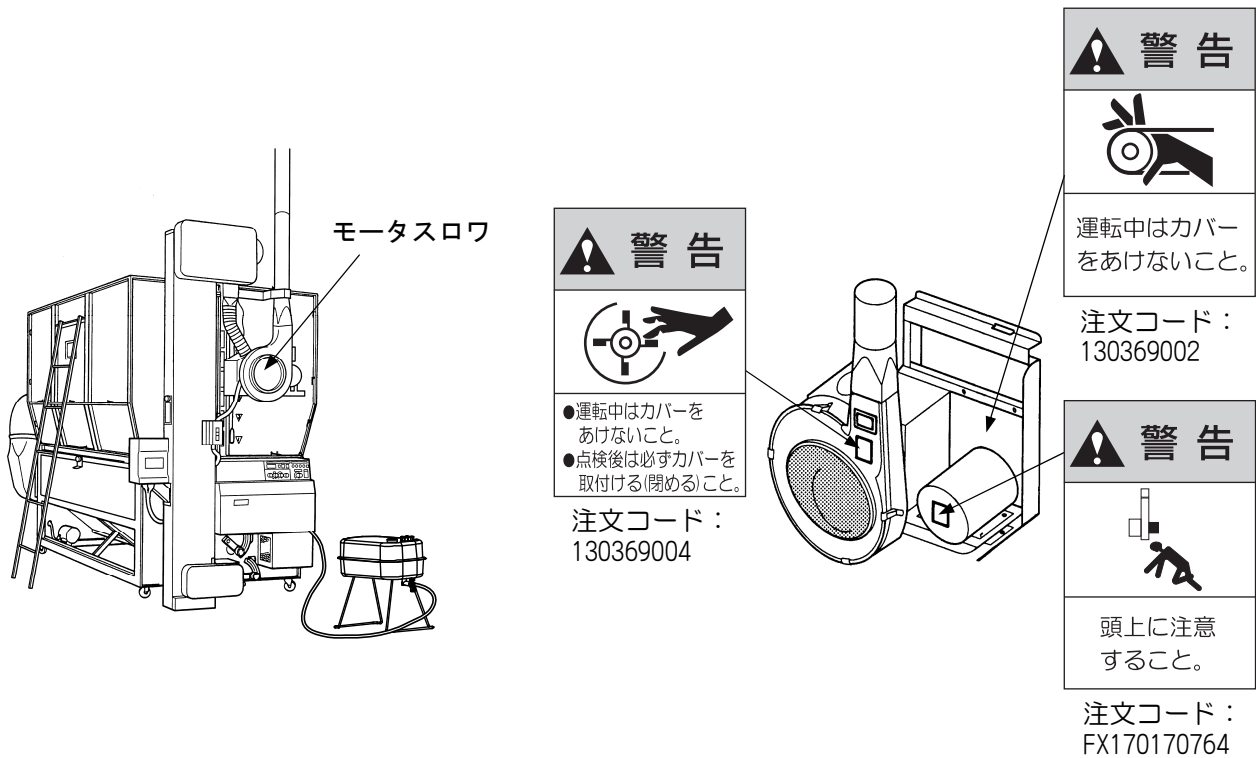
オプション部品

1. オプション部品

■ モータスロワ

- 乾燥が仕上がった穀物を排出口から上方に上げ、貯蔵タンクなどに搬送する場合に使用します。

(GDR27SZG にモータスロワを取り付ける場合は、別途プラスホースが必要です(長さ約 140cm))



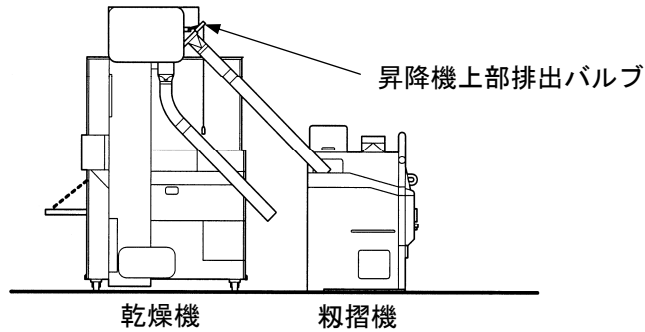
注意

- 単相 100V 電源の場合、モータスロワを使用することはできません。

■ 昇降機上部排出バルブ

注文コード：GDR08AAZ50（GDR11-14SZG および 9VZG）

- 排出位置を上げます。小型の乾燥機で糶摺機と連動して運転する場合に取り付けます。



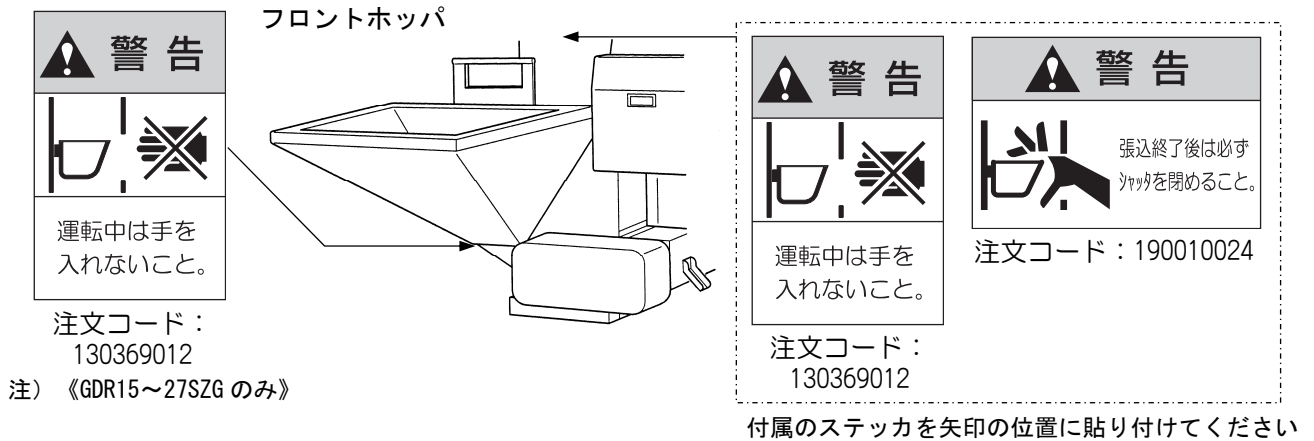
■ フロントホッパ

注文コード：LFAB01（GDR11-14SZG および 9VZG）

RMDR09SAZ20（GDR15-27SZG）

SDR10SEB051（GDR15-27SZG：グレンコンテナホース固定金具付）

- 用途や据付位置の関係で側面の張込ホッパが使用できない場合に取り付けます。

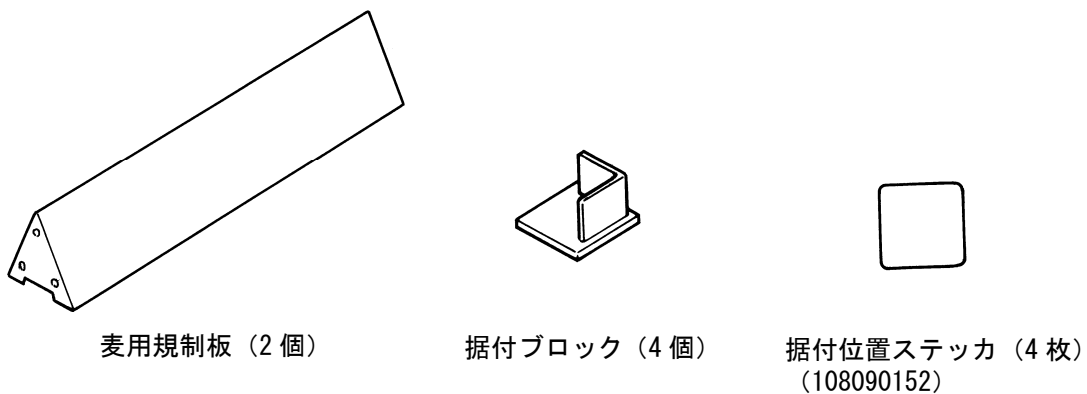


■ 麦用規制板一式

注文コード：GDR08SAZ53（GDR11-14SZG および 9VZG）

GDR08AAZ51（GDR15-27SZG）

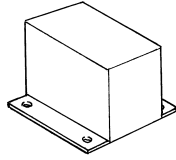
- 麦を乾燥する場合に取り付けます。



■ 単相100V電源用トランスボックス

注文コード：GDR11SAB51（GDR11-14SZG および 9VZG：トランスボックス）
9109549500（GDR11-14SZG および 9VZG：トランスボックス取付台）

- 元電源が 100V の場合に使用します。

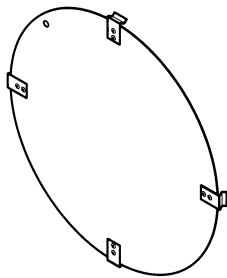


トランスボックス

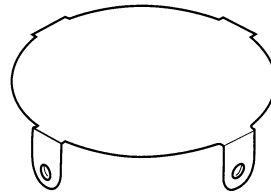
■ ネズミ防止カバー

注文コード：GDR11SAC52（GDR11-14SZG および 9VZG）
GDR15SAC52（GDR15-27SZG）

- 稼働前後、ネズミの機内侵入防止に使用します。



送風機（吸引ファン）用（1個）



排塵機（トップクリーナ）用（1個）
（GDR15～27SZG）

消耗部品

表 10の時間は部品の耐久時間を保証するものではありません。

部品の耐久時間は品種、水分などの使用条件により異なるため、表 10の時間を目安として事前に準備されることをお勧めします。

表 10 消耗部品一覧表

No.	品名	部品コード	使用箇所	機種	数量	交換の目安
1	ボールベアリング 6204DDU	FC110204	下部スクリュコンベア	9VZG 11-27SZG	2	750 時間
			上部スクリュコンベア		1	750 時間
			昇降機上部		2	750 時間
			昇降機下部		2	750 時間
2	下部スクリュコンベアシャフト	109111130	下部スクリュコンベア	9VZG, 11-14SZG	1	750 時間
		109141130		15-27SZG	1	750 時間
3	リブベルト 4PJ887 (350J4)	FD701013504	下部スクリュコンベア	9VZG, 11-14SZG	1	750 時間
	リブベルト 4PK1030	FD701210304		15-27SZG	1	750 時間
4	上部スクリュコンベアシャフト	106034020	上部スクリュコンベア	9VZG, 11-14SZG	1	750 時間
		107514020		15-27SZG	1	750 時間
5	ギヤボックス	FJ810011	上部スクリュコンベア	9VZG, 11-27SZG	1	750 時間
6	Vベルト A38	FD11A038	昇降機上部	9VZG, 11-14SZG	1	750 時間
	Vベルト (レッド) LA(SA)40	FD12S400		15-27SZG	1	750 時間
7	Vベルト (レッド) LA(SA)37	FD12S370	昇降機下部	9VZG, 11-14SZG	1	750 時間
	Vベルト (レッド) LA(SA)39	FD12S390		15-27SZG	1	750 時間
8	バケットベルト組立品	107503200	昇降機	9VZG	1	750 時間
		107483200		11, 13SZG	1	750 時間
		107493200		14SZG	1	750 時間
		107513200		15SZG	1	750 時間
		107523200		18SZG	1	750 時間
		107533200		21SZG	1	750 時間
		107543200		24SZG	1	750 時間
		110473200		27SZG	1	750 時間
9	ブッシュ	0286055	ロータリバルブ	9VZG, 11-27SZG	4	750 時間
10	比例弁ユニット	FS003184021	バーナ	9VZG, 11-27SZG	1	750 時間
11	電磁弁フィルタ組立品	FB704339012			1	1000 時間
12	燃焼炉一式	9106031640		9VZG, 11-14SZG	1	1000 時間
		9105981640		15-27SZG	1	1000 時間
13	フィルタ OF-2905B	FS000220401	バーナ・燃料タンク	9VZG, 11-27SZG	2	—
14	ダクト	FL0120202	排風ダクトφ280×3.5m	9VZG	1	—
		FL012020601	排風ダクトφ280×3.5m	11-14SZG	1	—
		FL012090101	排風ダクトφ440×3.5m	15-27SZG	1	—
15	プラスホース φ90mm×350mm	104080416	排出パイプ	9VZG, 11-27SZG	1	—
16	TP用ダクト φ105mm×6m	FL0120133	排塵機 (トップクリーナ)	15-27SZG	1	—
17	TP用ダクト φ105mm×2m	FL0120132	排塵機 (トップクリーナ)	15-27SZG	1	—

機械の仕様

表 11 仕様一覧表

機種		乾燥機（穀物用循環型）										
型式名		GDR9VZ	GDR11SZ	GDR13SZ	GDR14SZ	GDR15SZ	GDR18SZ	GDR21SZ	GDR24SZ	GDR27SZ		
区分		G(3)			G(2)							
穀物処理量 (kg)	粳(560kg/m ³)	300~900	300~1100	300~1300	300~1400	300~1500	300~1800	300~2100	300~2400	300~2700		
	小麦(680kg/m ³)	360~1100	360~1300	360~1400	360~1400	360~1800	360~2150	360~2550	360~2700	360~2700		
機体寸法	全長(mm)	2575				2740						
	全幅(mm)	1155			1340							
	全高(mm)	2200	2425		2585	2645	2890	3140	3380	3620		
機体質量(重量)(kg)		420	430	440	450	470	490	510	530	550		
送風機	型式名	FR33				FR42						
	形式	遠心式ターボ										
	常用回転数(r/min)	1720±50										
乾燥方式		熱風式										
バーナ	型式名	BC50										
	形式	ガンタイプ(噴霧式)										
	燃焼量(Q/h)	1.0~2.5				1.0~3.5						
使用燃料		灯油(JIS1号)										
燃料タンク容量(Q)		40				60						
所要電力注5	定格電圧(V)注1	三相200・单相200(单相100)				三相200・单相200						
	定格出力	本機(kW)	0.36				0.7					
		送風機(kW)	0.36				0.85					
		ロータリバルブ(kW)	0.03									
		バーナファン(kW)	0.05									
		自動水分計(kW)	0.006									
		排塵機(kW)	—				0.06					
最大同時使用電力(kW)		0.806				1.696						
性能	張込時間注2	粳(min)	11~14	13~17	15~19	17~21	13~15	15~18	18~21	21~24	23~27	
		小麦(min)	13~17	16~20	17~21	17~21	15~18	18~22	22~26	23~27	23~27	
	排出時間注2	粳(min)	13~18	16~23	19~27	21~29	15~18	18~22	21~25	24~29	27~33	
		小麦(min)	13~17	15~20	16~21	16~21	13~16	16~19	19~22	20~24	20~24	
	毎時乾減率注3	粳(%/h)	原料水分24%時 0.6~0.8									
小麦(%/h)		原料水分30%時 0.7~1.0										
諸装置	安全装置		①フレームロッド ②風圧センサ ③温度センサ ④過負荷保護装置 ⑤異常燃焼検出回路 ⑥マイコンによるアラーム検知および停止装置 ⑦感震装置									
	運転制御方式		電子制御									
	その他	標準装備品	①自動水分計 ②蛍光表示管(温度・水分・残時間・アラーム・その他) ③モータ ④ハシゴ(11~27SZG) ⑤張込ホッパ ⑥排塵機(トップクリーナ)(15~27SZG) ⑦満量センサ(15~27SZG) ⑧インバータ ⑨非常停止スイッチ(11~27SZG)									
オプション部品注4		①モータスロワ ②昇降機上部排出バルブ(11~14SZG, 9VZG) ③フロントホッパ(昇降機) ④单相100V電源用トランスボックス(11~14SZG, 9VZG) ⑤専用規制板 ⑥排出自動切換バルブ ⑦昇降機逆組付部品(13SZGを除く) ⑧ハシゴ(9VZG) ⑨非常停止スイッチ(9VZG) ⑩ネズミ防止カバー										
安全鑑定適合番号		27136	27106	—	27107	27108	27109	27110	27111	—		

その他

注1. 单相100V電源でご使用の場合は、オプション部品のトランスボックスが必要です。

注2. 張込・排出時間は、穀物の性状によって変動します。

注3. 毎時乾減率は、穀物の初期水分により異なります。

注4. 詳しくは、76ページ「オプション部品」を参照してください。

注5. 11~14SZG, 9VZGのモータブレーカの容量は、三相200V(スロワなし)は7A以上、三相200V(スロワあり)は10A以上、单相200V(スロワあり、なし)は15A以上、单相100V(スロワなし)は30A以上です。

15~27SZGのモータブレーカの容量は、三相200V(スロワなし)は10A以上、三相200V(スロワあり)は15A以上、单相200V(スロワなし)は20A以上、单相200V(スロワあり)は30A以上です。

注6. 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

機体寸法

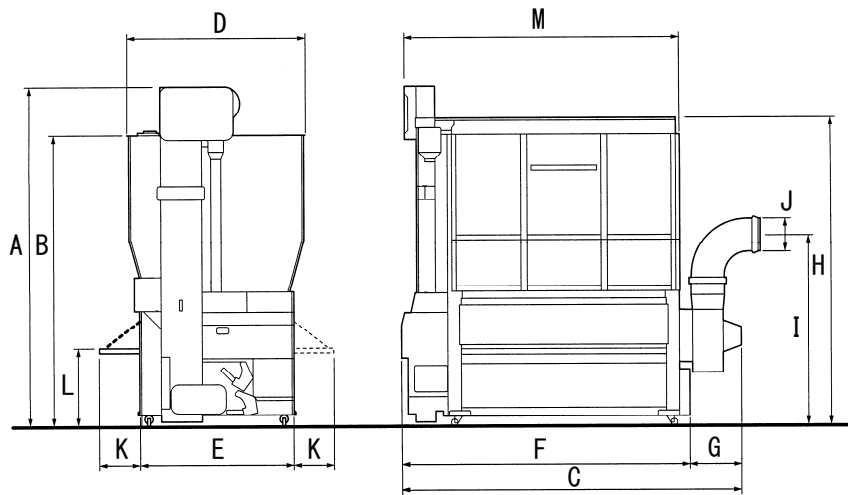


図 9 GDR11・13・14SZG 機体寸法

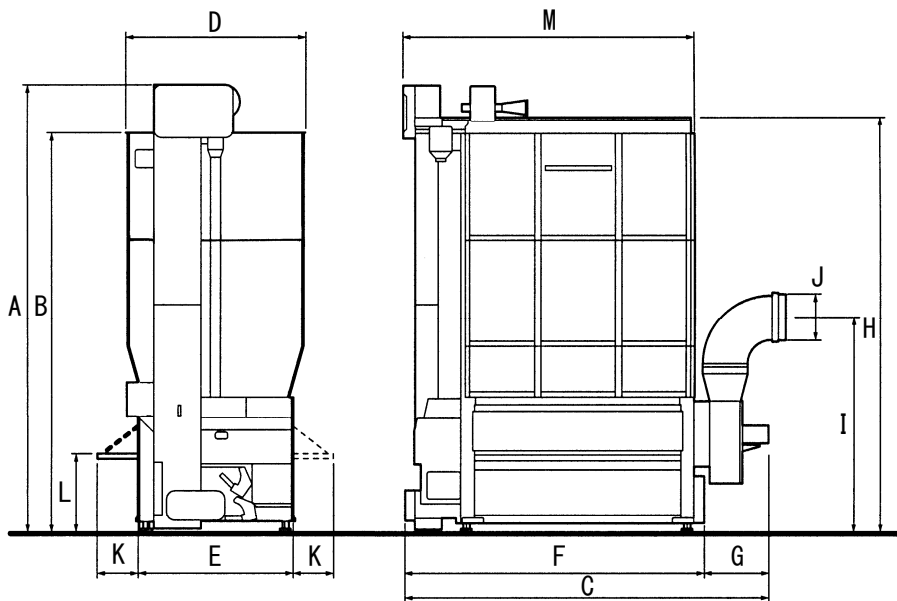


図 10 GDR15・18・21・24・27SZG 機体寸法

表 12 GDR11・13・14・15・18・21・24・27SZG 機体寸法一覽表

単位：mm

型式・区分	GDR11SZG	GDR13SZG	GDR14SZG	GDR15SZG	GDR18SZG	GDR21SZG	GDR24SZG	GDR27SZG
A	2425		2585	2645	2890	3140	3380	3620
B	2060		2220	2280	2520	2770	3010	3250
C	2575			2740				
D	1155	1340						
E	1155							
F	2175			2240				
G	400			500				
H	2185	2345	2410	2650	2900	3140	3380	
I	1465			1640				
J	255			345				
K	305							
L	610							
M	2090			2185				

単位：mm

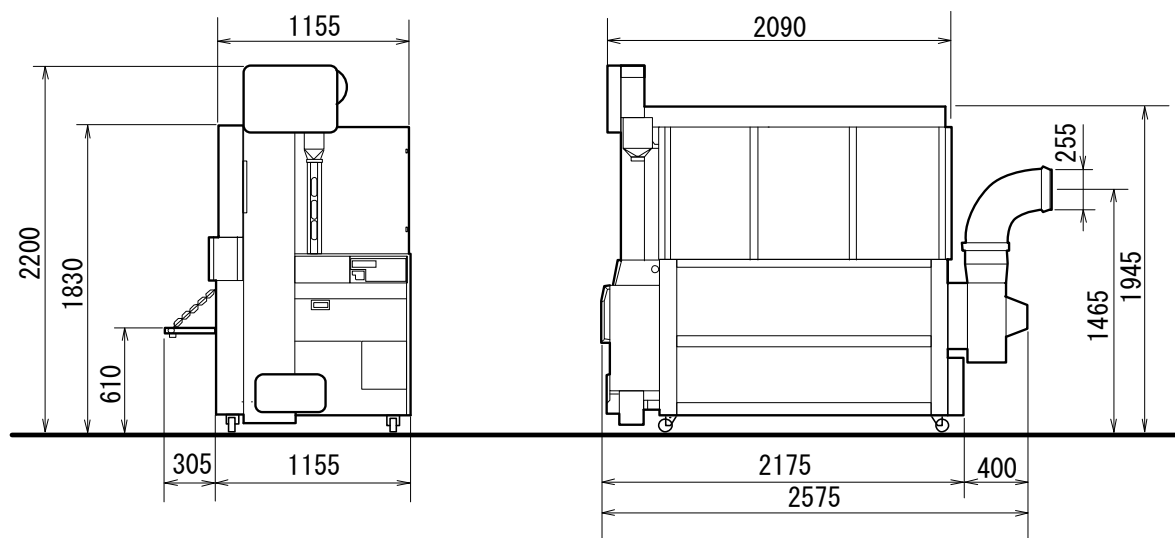


図 11 GDR9VZG 機体寸法

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはJAまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「お買い上げ日、販売店名・JA」などの記入をお確かめの上、販売店またはJAからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■補修用部品の供給年限

- この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後12年とします。ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

- 「困ったとき」（54～74ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはJAにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

サタケ乾燥機

メンテナンスブック

(点検・整備記録)

稼働後 2 年間
無償点検が受けられます。
申込票付

株式会社 **サタケ**

このたびは、サタケ乾燥機をお買い上げいただき
ありがとうございます。

乾燥機を安全・快適にご使用いただくために、
お買い上げいただいた販売店・JAを通じて、
万全のアフターサービスをお届けしてまいります。
末永くご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

セルフメンテナンスと定期点検

サタケではご購入された機械を常にベストコンディションに保ち、重大なトラブルを未然に防ぎながら、未永くお使いいただくためにお客様ご自身によるセルフメンテナンスの励行とプロのサービススタッフによる定期点検をお勧めします。



セルフメンテナンス

お客様ご自身による日常点検

使用前・使用后

- 機械の使用前、使用後にお客様自身の責任において行っていただく保守管理です。
- 駆動部関係の目で見てわかる基本的なチェックですが、どれも大切なものばかりです。
- セルフメンテナンスにあたっては、取扱説明書を必ずご覧の上、実施してください。
- 部品類は、ご購入先でご依頼願います。



セルフメンテナンスで気になる箇所、不具合と思われる状況が見つかった場合は、すぐご購入先の販売店またはJAにご相談ください。



定期点検

プロのサービススタッフによる定期点検

- 稼働後 2 年間定期点検は無料です。
(1 年に 1 回)
3 年目以降は、お客様ご自身で実施いただくか、ご購入先の販売店またはJAにご依頼ください。
 - 定期点検は、今悪い箇所を整備するだけでなく、今後の劣化や摩耗の度合いを予測して予防整備を行います。
予防整備は大きな故障や余分な出費を防ぐとともに、次の点検までの安心を提供します。
 - 点検整備、部品交換を定期的の実施しましょう！
 - 摩耗する部品が多くあります。
 - メンテナンスを定期的の実施しましょう！
- * プロのサービススタッフによる定期点検を実施してください。

「メンテナンスレコードシート」

を定期点検歴としてお役立てください。

お客様のメリット

- 安心** 機械をいつもベストコンディションで安心・快適な作業が行えます。
- 安全** トラブルを未然に防ぐことで安全な作業が行えます。
- 确实** 突発的トラブルもなく、計画的に作業が行えます。
- 長寿命** 大切な機械を永く使用できます。
- 経済的** 重大な故障が少なくトータルで経済的です。



メンテナンスレコードシート

*保守点検はお客様が主役です。点検をしっかりと行い、気持ちよく作業をいたします。

点検	納品	初年	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

保証期間	一般保証
------	------

日常点検 お客様が機械の使用条件に応じて、お客様ご自身の判断で必要に応じて行います。

日常点検	点検日
------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

区 分		無 料		有 料							
定期点検	点 検 日
整 備	会社・JA名										
	点 検 者 名										

稼働後2年間の定期点検は無料です。

3年目以降はお客様ご自身で実施いただくか、ご購入先の販売店またはJA、サタケでプロのサービススタッフによる定期点検を実施してください。

販売店・JA・サタケによる定期点検時のご注意

- 各種電球・ヒューズ類は定期点検等で点検確認をいたしますが、消耗度により切れる場合がございます。
- 点検後の電球・ヒューズ等の交換は有料となりますので、ご了承ください。

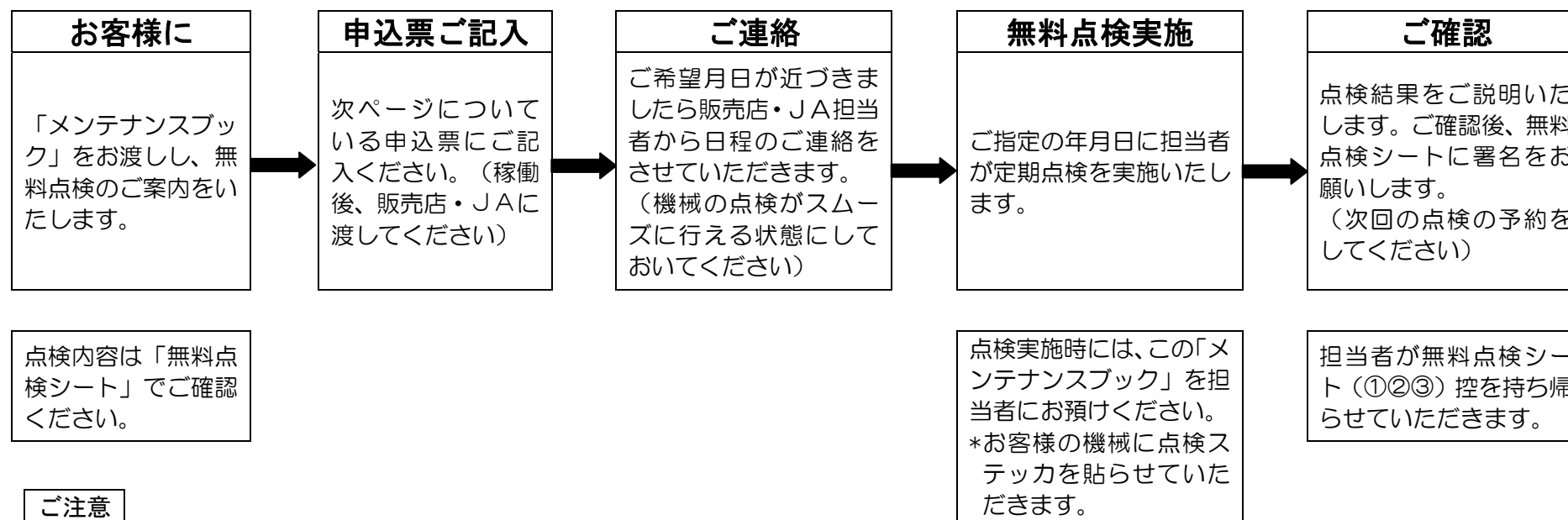
*保証は、点検チェックシートにある項目のみとします。

無料点検のご案内

- ① 稼働後2年間無料点検が受けられます。
- ② プロのサービススタッフがお伺いし、プロの目で診断、点検、適切な処置とアドバイスを行います。
- ③ 診断・点検の技術料は、無料です。お気軽にご利用ください。

1年目点検予定	年 月
2年目点検予定	年 月

●ご利用のしかた

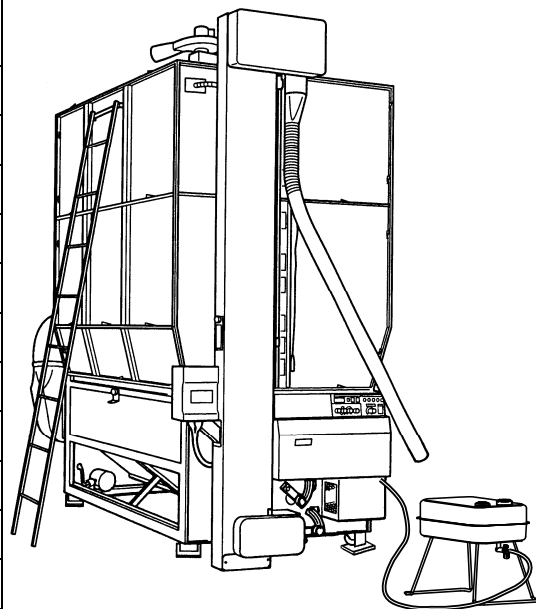


1. 初回点検シートの再発行はいたしません。大切に保管してください。
2. 稼働後、2年が経過した後の交換部品類の費用、それに伴う技術料は有料です。
ただし、1年目でも品質保証外による交換部品類の費用、それに伴う技術料は有料です。
3. 点検項目以外の作業については別途料金を申し受けさせていただきます。
4. 保証適用外の作業については、別途料金を申し受けます。
5. 電源が来ていない場合、運転確認を省かせていただきます。

*** 乾燥機の点検ができるよう整理・整頓をお願いいたします。**

点検は、下記項目を実施します。

点検箇所	点検項目
燃 料 部	燃料パイプ
	フレームロッド
	燃料タンクフィルタ
	バーナーコード
送風機部 (吸引ファン部)	Vベルト
昇 降 機 部	バケットベルト
	バケット
	Vベルト・Vリブベルト
	テンションプーリ
駆 動 部	駆動チェーン
	スプロケット
	Vベルト・Vリブベルト
排出スロワ部	スロワ羽根・アーム
	スロワケース・胴・蓋
	Vベルト
配 線	中間コード
空運転（入電時）	異音・燃焼状態



き
り
と
り
線

2年目無料点検 申込票

下記機械について初回無料
点検を予約します。

お名前（自署）

様

型式名

お申込日 年 月 日

ご希望年月 年 月

担当者記入欄

納入年月日

年 月 日

販売店・営業所名・J A名

担当者名

備考

初年度無料点検 申込票

下記機械について初回無料
点検を予約します。

お名前（自署）

様

型式名

お申込日 年 月 日

ご希望年月 年 月

担当者記入欄

納入年月日

年 月 日

販売店・営業所名・J A名

担当者名

備考

き
り
と
り
線

*シーズン前には再度機内の異物の確認をお願いします。

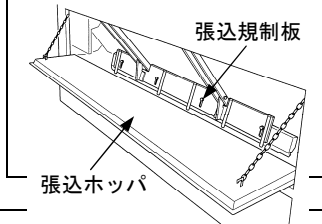
日常点検のしかた

日常点検はお客様ご自身で！

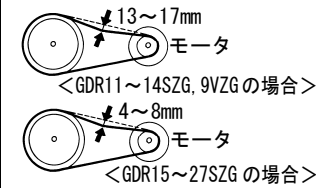
機械の使用状態から判断し、トラブルを未然に防止するために、お客様ご自身の責任により実施しましょう。

シーズン前点検のポイント

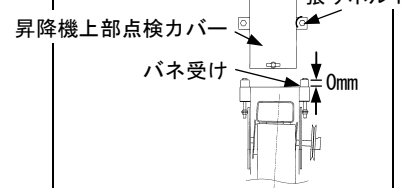
機械内の残留穀物の
チェック



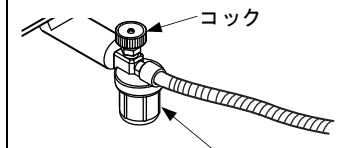
Vベルト・Vリブベルト
の張りとお損傷チェック



バケットベルトの張り、片
寄りチェック



灯油・フレキシブルチュー
ブ・ストレナの漏れ・エ
アカミチェック

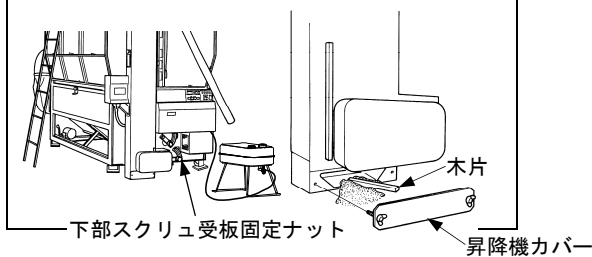


回転方向・燃焼
チェック

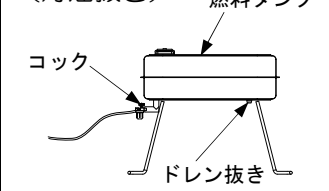
燃料タンク側ストレナ

稼働後のポイント

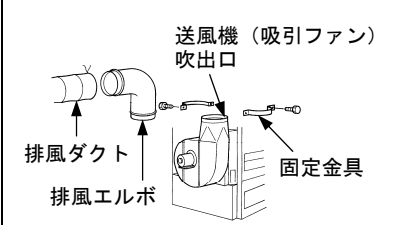
残留穀物の取出・掃除



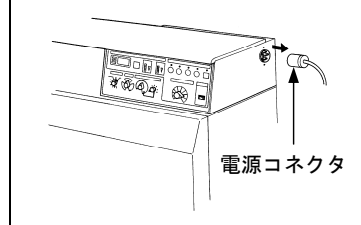
燃料タンクの掃除
(灯油抜き)



ネズミ侵入防止の蓋などの取付



電源コネクタを抜く

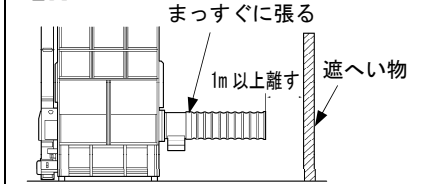


始業前点検のポイント

- * 上記は、シーズン前、稼働後、始業前に最低限やっていただきたい項目を記載したものです。
- * 日常（保守）点検の詳細は取扱説明書を参照してください。

始業前に機械をひと回りして
周囲の確認・安全確認

排風ダクトなどに曲がりがないか
確認



電源を入れ空運転

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、下記連絡先へご連絡ください。

[1] 販売店・JA（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

[2] 最寄りの営業所

●販売店・JAに連絡が見つからない場合は、下記最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL (代表)	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区菊水3条2丁目52-254	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0813
北上営業所／岩手県北上市川岸1丁目16-1 (東北佐竹製作所内)	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目南町2-20	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0013
小山営業所／栃木県小山市駅南町4丁目31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟3丁目8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見3丁目10-6	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵衛町793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町2丁目5-1	06 (6867) 6015	06 (6867) 6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町2-30	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-8602
松山営業所／愛媛県伊予市市場485-1	089 (982) 6990	089 (997) 3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分1丁目7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区西原3丁目3-29	096 (382) 2727	096 (386) 2007	861-8029

[3] 製造元 株式会社 **サマケ**

広島本社／広島県東広島市西条西本町2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡が見つからない場合は、下記連絡先へご連絡ください。

■お客様相談窓口	[営業企画・サービス課]	TEL : 082 (420) 8543	FAX : 082 (420) 0005
■本社営業窓口	[調製機事業本部]	TEL : 082 (420) 8541	FAX : 082 (420) 0005
■大代表		TEL : 082 (420) 0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<http://www.satake-japan.co.jp/>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本

□サタケグループ／

株式会社サタケ、株式会社東北佐竹製作所、佐竹鉄工株式会社、佐竹電機株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE (CANADA) INC.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、SATAKE INTERNATIONAL BANGKOK CO.,LTD.、
佐竹機械(蘇州)有限公司、佐竹軟件技術(蘇州)有限公司、SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.

Copyright (C) 2014 Satake Corporation. All rights reserved.

I4GDR11SAH-X1408D-D